

消 防 年 報

平成 2 2 年版



熊 谷 市 消 防 本 部

平成 2 3 年刊行

は　じ　め　に

この消防年報は、平成22年中の消防業務及び平成23年4月1日現在の消防現勢について収録し、今後の消防行政の運営に資するとともに、当消防本部の消防現況を広く御理解いただくために編集したものです。

平成23年8月

熊谷市消防本部

熊 谷 市

市 章



熊谷の名を円形に図案化したもので、上部右が「ク」を、同左が「マ」を、全体で「谷」を表しています。

大正8年に、熊谷町の紋章として、一般に懸賞募集し、同11年7月から使用されたものです。

昭和8年4月1日の市制施行後、市の紋章として引き継がれ、平成17年10月1日の合併による新熊谷市においても引き継がれました。

シンボルマーク



熊谷市（「くま」の2文字）が限りない未来に向かって大きく飛躍している様子をデザイン化しています。

市の花 : さくら

市の木 : ケヤキ

市の鳥 : ヒバリ

目 次

◎ 熊谷市消防本部の沿革	1
◎ 組織及び予算	
歴代消防長	1 4
消防組織表	1 5
消防配置図	1 6
消防通信系統図	1 7
消防本部事務分掌	1 8
消防署、分署事務分掌	2 0
現有人員・消防職員年齢状況	2 1
消防職員勤続年数状況・常備消防管内情勢	2 2
消防職員研修状況	2 3
消防吏員特殊技能その他資格取得者数	2 4
平成 2 3 年度消防予算	2 6
消防音楽隊	2 7
◎ 消防施設及び機械	
消防本部、消防署、分署庁舎一覧表	2 8
消防ポンプ自動車等性能一覧表	2 9
救助工作車積載器材保有状況	3 3
通信施設	3 4
1 1 9 番通報受信状況・災害等自動案内装置利用状況	3 5
◎ 消防水利	
消防水利状況	3 6
署別消防水利状況	3 9
◎ 火災予防	
防火対象物数	4 0
消防同意件数	4 1
危険物製造所等施設数	4 2
指定数量の倍数別危険物製造所等施設数	4 3
防火対象物別消防訓練実施状況	4 4

◎ 火災

火災の発生状況	4 5
月別火災発生状況	4 6
署別火災発生状況	4 7
分団別火災発生状況	4 8
月別、時刻別火災発生件数	4 9
損害額及び焼損面積区分による火災件数	5 0
出火原因別火災発生件数	5 1
曜日別火災発生状況・時間別火災発生状況	5 2
火災発生覚知別状況・主なる火災・死者を伴った火災	5 3

◎ 救急、救助

事故種別出動状況等	5 4
事故種別署別出動状況	5 5
事故種別時刻別搬送人員	5 6
事故種別傷病程度別搬送人員	5 7
救急告示医療機関及びその他医療機関への搬送状況	5 8
事故種別出動件数・程度別搬送人員	5 9
一日平均救急出動件数の年別比較・年齢区分別搬送人員	6 0
救急隊員の行った応急処置件数	6 1
救急事故覚知別状況・医療資器材の使用状況	6 2
救助統計	6 3
月別救助出動件数	6 4
事故種別発生場所別活動件数・事故種別出動車両等台数	6 5

◎ 消防団

消防団組織表	6 6
消防団車庫一覧表	6 7
消防ポンプ自動車等性能一覧表	6 9
勤続年数状況・年齢状況	7 1

熊谷市消防本部の沿革

昭和23年	3月	消防組織法の施行により熊谷市消防本部、消防署を設置 熊谷市長 鴨田宗一氏、消防長に就任
昭和30年	3月	消防本部庁舎を宮町2丁目137番地(現在の中央消防署)に 竣工
昭和31年	3月	消防長に青木勝之助氏就任 玉井分所(現在の玉井分署)を開所
昭和33年	5月	熊谷市長に栗原正一氏就任
昭和36年	8月	南分所(現在の荒川分署)を開所
昭和37年	5月	熊谷市長に黒田海之助氏就任
昭和42年	12月	妻沼町消防本部、消防署を設置
昭和43年	3月	消防長に神尾貞治氏就任
昭和47年	4月	熊谷市、妻沼町、大里村、江南村の1市1町2村により 熊谷地区消防組合を設立発足し、管理者に熊谷市長 黒田海之助氏就任 署所 1本部 1署 1分署 2出張所 車両 普通消防ポンプ自動車3台、水槽付消防ポンプ自動車 5台、屈折はしご車1台、救急車3台、指令車1台、 広報車1台、作業車1台、救助艇1艇 職員 113名(定員151名) 消防長に吉野利男氏就任
昭和47年	6月	職員を126名に増員
昭和47年	11月	妻沼分署を妻沼消防署に昇格
昭和47年	12月	消防本部に火災等における指揮命令を迅速かつ適切に周 知させるため、無線付指令車を配置
昭和48年	1月	職員を130名に増員 大里消防団北分団車庫竣工、同団北分団に消防車を配置
昭和48年	2月	南部地域の消防体制完備のため、大里出張所、江南出張 所を開所、両出張所に水槽付消防ポンプ自動車1台配置、 職員各15名

昭和48年	3月	妻沼消防団男沼分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団大幡分団車庫竣工 熊谷消防団吉岡分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和48年	4月	職員を133名に増員
昭和48年	5月	職員を138名に増員
昭和48年	8月	予防査察、火災警戒パトロール、水利調査及び火災調査用としてパトロール車(軽四輪)2台を消防本部に配置
昭和48年	12月	熊谷消防団石原分団車庫竣工
昭和49年	3月	職員を150名に増員 熊谷消防団久下分団車庫竣工、同分団の普通消防ポンプ自動車を更新 科学の発達に伴い複雑多岐にわたる災害に対処するため化学車を熊谷消防署に配置 熊谷消防団石原分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和49年	5月	消防本部、消防署の組織改革を行い、責任体制を明確化し、本部に総務課3係、予防課2係、消防署に副署長を置き、警防係制に改革
昭和49年	11月	大型地震防災計画の一環として小型動力ポンプ5台を購入し各署所に配置(熊谷署、荒川、玉井、大里、江南出張所) 熊谷消防団成田分団及び江南消防団南分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和49年	12月	高層建築物災害に対処するため35m級はしご付消防車を熊谷消防署に配置 増加する救急業務の万全を期するため、救急車(3B型)を熊谷消防署に配置 職員定数を166名に改正
昭和50年	2月	江南消防団南分団車庫竣工
昭和50年	3月	熊谷消防団成田分団車庫竣工
昭和50年	4月	消防長吉野利男氏 埼玉県消防長会会長に就任
昭和50年	6月	予防査察、火災警戒パトロール、水利調査及び火災調査用としてパトロール車(軽四輪)2台を消防本部に配置

昭和50年10月	妻沼消防署に救急車(2B型)を配置
昭和50年11月	熊谷消防署に救急車(2B型)を配置 (埼玉県農業共済連寄贈)
	妻沼消防団妻沼分団第1部車庫竣工
昭和50年12月	火災等における指揮命令を迅速かつ適切に周知させるため、無線付指令車を妻沼消防署に配置
昭和51年 1月	熊谷消防署に水槽付消防ポンプ自動車を配置
昭和51年 3月	熊谷消防団佐谷田分団の普通消防ポンプ自動車を更新 交通事故、労働災害、中高層建築物等に伴う複雑多様化による各種災害に万全を期するため、消防ポンプ付救助工作車を熊谷消防署に配置
昭和51年 7月	職員を151名に増員
昭和51年 9月	火災問合せ専門着信電話装置(3回線)を熊谷消防署に設置
昭和51年10月	消防本部に防災無線電話を設置
昭和52年 2月	大里消防団南分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団肥塚分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和52年 3月	熊谷消防団別府分団車庫竣工 建築物の中高層化によるビル火災や爆発事故等複雑多様化による災害からの人命救助等に対処するため、庁舎予定地に訓練棟(3棟)を設置
昭和52年 5月	火災問合せ専門着信電話装置(2回線)増設
昭和52年 8月	予防査察、火災警戒パトロール、水利調査及び火災調査用としてパトロール車(軽四輪)2台を熊谷消防署に配置
昭和52年12月	大型地震防災計画の一環として小型動力ポンプを妻沼消防署に配置
昭和53年 2月	消防本部に広報車(普通車)を配置 妻沼消防署の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和53年 3月	熊谷消防団星宮分団の普通消防ポンプ自動車を更新 大里消防団中央分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和53年 4月	職員を153名に増員
昭和53年 7月	熊谷消防団上石分団車庫竣工

昭和54年	1月	熊谷消防団太井分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和54年	2月	熊谷消防署玉井出張所の水槽付消防ポンプ自動車を更新
昭和54年	5月	火災問合せ専門着信電話装置(5回線)を増設
昭和54年	8月	熊谷消防団三尻分団車庫竣工
昭和54年	10月	熊谷消防団筑波分団車庫竣工
昭和54年	12月	市街地特有の密集建物火災に対処するために、動く貯水槽として、また、大震災時における住民への飲料給水車として小型動力ポンプ付水槽車(7,300ℓ)を熊谷消防署に配置
昭和55年	1月	熊谷消防署の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和55年	3月	熊谷消防団大幡分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団太井分団車庫竣工 妻沼消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団筑波分団の水槽付消防ポンプ自動車を更新 庁舎予定地に高圧ガス容器貯蔵庫を設置
昭和55年	5月	職員を159名に増員
昭和55年	7月	消防本部に作業車(車両修理用工具一式積載)を配置
昭和55年	8月	熊谷消防団団本部分団にワゴン型普通車を配置
昭和55年	10月	新庁舎建設設計業務を熊谷市建築課に委託
昭和56年	1月	熊谷消防団各分団に消火及び人命救助活動に使用するため、空気呼吸器8型を配置
昭和56年	2月	熊谷消防署の救急車(3B型)を更新
昭和56年	3月	庁舎建設予定地に書類倉庫2棟を建設 熊谷消防団大麻生分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団玉井分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団中条分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和57年	3月	熊谷消防署荒川出張所の水槽付消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団奈良分団車庫竣工
昭和57年	4月	職員を164名に増員
昭和57年	5月	熊谷地区消防組合管理者に熊谷市長増田敏男氏就任
昭和57年	6月	熊谷地区消防本部消防長に門倉恒一氏就任
昭和57年	8月	熊谷地区消防組合庁舎建設着工

		ルート熊谷寄贈)
		熊谷消防署に普通消防ポンプ自動車を配置
		江南消防団北分団の普通消防ポンプ自動車を更新
		熊谷消防署にボートトレーラーを配置
昭和60年	3月	熊谷消防団荒川分団の普通消防ポンプ自動車を更新
		熊谷消防署の救急車(2B型)を更新
		妻沼消防団妻沼分団第1部及び太田分団の普通消防ポンプ自動車を更新
		熊谷消防団肥塚分団車庫竣工
昭和60年	4月	熊谷地区消防本部消防長に中村和夫氏就任
昭和60年	5月	熊谷消防署に広報装置付普通車を配置(株式会社八木橋寄贈)
昭和60年	7月	熊谷消防署大里出張所及び江南出張所に査察車(軽四輪)を配置
昭和60年	11月	組合構成市町村の江南村、町制を施行
昭和60年	12月	熊谷消防署にドクターズカーを配置(日本赤十字社埼玉県支部 無償譲渡)
昭和61年	3月	熊谷消防署中央分署の救急車(2B型)を更新
		熊谷消防署大里出張所及び江南出張所の水槽付消防ポンプ自動車を更新
		妻沼消防団男沼分団第1部及び秦分団の普通消防ポンプ自動車を更新
		江南消防団北分団車庫竣工
昭和61年	7月	職員を178名に増員
昭和61年	8月	熊谷地区消防組合管理者に熊谷市長小林一夫氏就任
昭和61年	10月	熊谷消防団上石分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和62年	4月	職員を179名に増員
昭和62年	8月	熊谷消防署玉井出張所及び荒川出張所の査察車(軽四輪)を更新
昭和62年	10月	熊谷消防団三尻分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和63年	3月	熊谷消防署江南出張所及び大里出張所に救急車(2B型)を配置

(江南救急車シャシー日本損害保険協会寄贈)

昭和63年	4月	機構改革により中央分署を中央消防署に、荒川、玉井、江南、大里の各出張所を分署に改変 熊谷地区消防本部消防長に多田浩氏就任
昭和63年	8月	消防本部及び熊谷消防署の査察車(軽四輪)各1台を更新
昭和63年	10月	熊谷消防団奈良、別府分団の普通消防ポンプ自動車を更新 大里消防団北分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成	元年	1月 熊谷消防署の普通消防ポンプ自動車を更新
平成	元年	2月 中央消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成	元年	3月 妻沼消防署の救急車を更新 妻沼消防団太田分団車庫竣工
平成	元年	4月 熊谷地区消防組合章を制定
平成	元年	7月 消防本部、中央及び妻沼消防署の査察車(軽四輪)各1台を更新
平成	元年	8月 熊谷消防署の中型輸送車を更新
平成	元年	10月 熊谷消防団吉岡分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成	2年	2月 熊谷消防署の救助工作車を更新
平成	2年	3月 熊谷消防団団本部分団待機室竣工 妻沼消防団長井分団車庫及び男沼分団車庫竣工 江南消防団南分団車庫竣工、同分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成	2年	6月 中央消防署の指令車を更新
平成	2年	8月 熊谷消防署の資機材運搬車を更新
平成	2年	10月 妻沼消防団妻沼分団第2部の普通消防ポンプ自動車を更新
平成	2年	11月 妻沼消防団秦分団車庫竣工
平成	3年	3月 妻沼消防団妻沼分団第2部車庫竣工 妻沼消防団男沼分団第2部の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団石原分団の普通消防ポンプ自動車を更新 妻沼消防署庁舎及び熊谷消防署玉井分署庁舎竣工
平成	3年	4月 熊谷消防署玉井分署に救急車(2B型)を配置 職員を186名に増員 職員定数を214名に改正

平成	4年	2月	熊谷消防団吉岡分団車庫竣工
平成	4年	3月	熊谷消防団成田分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成	4年	4月	職員を 196 名に増員
平成	4年	10月	熊谷消防署のスノーケル車を 35m のはしご付消防車に更新し、玉井分署に配置
平成	4年	12月	熊谷消防署玉井分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成	5年	1月	熊谷消防団佐谷田分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成	5年	4月	職員を 203 名に増員
平成	5年	8月	妻沼消防署の指令車を更新
平成	5年	9月	熊谷消防団肥塚分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成	5年	11月	熊谷消防署玉井分署に普通消防ポンプ自動車を配置
平成	6年	1月	妻沼消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防署の化学車を更新し、玉井分署に配置
平成	6年	2月	熊谷消防署の救急車(2B型)を高規格救急車に更新 (三国コカ・コーラボトリング株式会社寄贈)
平成	6年	4月	熊谷地区消防本部消防長に橋本澄男氏就任 職員を 212 名に増員 職員定数を 247 名に改正
平成	6年	8月	熊谷消防署の指令車を更新
平成	6年	9月	熊谷消防署に赤バイ 2 台を配置(江田組株式会社寄贈)
平成	6年	10月	中央消防署の救急車を高規格救急車に更新
平成	6年	11月	中央消防署の小型動力ポンプ付水槽車を水槽付消防ポンプ自動車に更新
平成	6年	12月	中央消防署のはしご付消防自動車(35m)及び普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団筑波分団の水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成	7年	1月	熊谷消防団大幡分団及び星宮分団の普通消防ポンプ自動車を更新 大里消防団中央分団及び南分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成	7年	4月	職員を 222 名に増員
平成	7年	6月	消防本部の査察車(軽四輪)3 台、熊谷消防署広報車及び

			妻沼消防署の救助用ボートを更新
平成	7年	7月	消防本部の装備車を更新
平成	7年	11月	熊谷消防団太井分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成	8年	2月	熊谷消防署のドクターズカー及び中央消防署の救急車 (2B型)を更新
平成	8年	3月	中央消防署荒川分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新 大里消防団 竿頭綬を受章
平成	8年	4月	熊谷地区消防本部消防長に堀越満氏就任 本部に通信指令課を設置 職員を233名に増員
平成	8年	9月	熊谷消防署の広報車1台、熊谷消防署江南分署及び中央 消防署大里分署の査察車各1台を更新
平成	8年	10月	消防職員委員会を設置 アポロキャップ型略帽を採用
平成	9年	1月	熊谷消防団玉井分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成	9年	2月	熊谷消防団大麻生分団及び中条分団の普通消防ポンプ自 動車を更新 熊谷消防署江南分署及び中央消防署大里分署の救急車 (2B型)を高規格救急車に更新 熊谷消防署玉井分署に救助工作車を配置
平成	9年	3月	大里消防団北分団車庫竣工 消防緊急通信指令施設Ⅱ型を通信指令課に配置 119番受付回線 容量50回線、実装21回線 指令回線 容量40回線、実装7回線 無線設備 基地局1局(12装置) 市町村波 150.31MHZ 県内波 148.29MHZ 全国波① 150.73MHZ " ② 148.75MHZ " ③ 154.15MHZ 救急(復信)波 147.50MHZ 143.50MHZ

デジタル交換機

局線容量 16 回線、実装 9 回線

内線容量 72 回線、実装 68 回線

平成 9 年 4 月	職員を 243 名に増員
平成 10 年 2 月	妻沼消防団妻沼分団第 1 部車庫竣工 熊谷消防団久下分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 10 年 3 月	妻沼消防署の救急車(2B 型)を高規格救急車に更新
平成 10 年 4 月	携帯電話からの 119 番通報受信転送システム開始
平成 10 年 9 月	熊谷消防署玉井分署及び中央消防署荒川分署の査察車各 1 台を更新
平成 11 年 1 月	熊谷消防団中央分団及び江南消防団中央分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 11 年 2 月	妻沼消防署の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 11 年 3 月	江南消防団 竿頭綬を受章
平成 11 年 4 月	熊谷地区消防本部消防長に山川幸男氏就任
平成 11 年 8 月	熊谷消防署の中型輸送車を更新
平成 11 年 10 月	消防本部に 8 人乗りワゴン車を配置(故廣田雪枝氏 寄贈)
平成 12 年 2 月	熊谷消防署玉井分署の救急車(2B 型)を高規格救急車に更新 熊谷消防署の小型動力ポンプ付水槽車を水槽付消防ポンプ自動車に更新
平成 12 年 5 月	熊谷消防署江南分署及び中央消防署大里分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団荒川分団、妻沼消防団長井分団及び江南消防団北分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 12 年 8 月	消防本部の査察車を更新
平成 12 年 10 月	熊谷消防署の資機材運搬車を更新 中央消防署及び妻沼消防署の査察車を更新
平成 13 年 4 月	職員を 244 名に増員
平成 13 年 6 月	熊谷消防団上石分団、妻沼消防団妻沼分団第 1 部及び太田分団の普通消防ポンプ自動車を更新

平成13年10月	熊谷地区消防音楽隊発足
平成13年11月	中央消防署指令車を更新
平成14年4月	組合構成市町村の大里村、町制を施行
平成14年8月	熊谷地区消防組合管理者に熊谷市長富岡清氏就任
平成14年10月	中央消防署の高規格救急車を災害対応特殊救急自動車に更新
平成15年1月	熊谷消防団三尻分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成15年2月	妻沼消防団秦分団及び男沼分団第1部の普通消防ポンプ自動車を更新
平成15年4月	熊谷地区消防本部消防長に福島正美氏就任
平成15年7月	熊谷消防署の高規格救急自動車を更新
平成15年10月	熊谷消防団奈良分団、別府分団及び大里消防団北分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成15年11月	熊谷消防署の普通消防ポンプ自動車を災害対応特殊消防ポンプ自動車に更新
平成16年10月	新潟県中越地震に緊急消防援助隊埼玉県隊として出動
平成17年3月	中央消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団吉岡分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成17年4月	熊谷地区消防本部消防長に中島裕一氏就任 熊谷消防署に指揮隊を設置
平成17年9月	江南消防団南分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成17年10月	組合構成市町の熊谷市、大里町、妻沼町が合併(廃置分合)により新熊谷市誕生 熊谷消防署の救助工作車を更新
平成18年4月	職員を245人に増員
平成18年10月	警防課に指揮隊車を配置
平成18年11月	熊谷消防団石原分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成19年2月	組合構成市町(熊谷市、江南町)の廃置分合により熊谷地区消防組合が解散 熊谷市消防本部並びに熊谷消防署、熊谷消防署玉井分署、熊谷消防署江南分署、中央消防署、中央消防署荒川分署、中央消防署大里分署及び妻沼消防署を設置

		職員定数 247 名
		消防長に中島裕一氏就任
		熊谷消防団及び江南消防団を統合し、熊谷市消防団を設置
		団員定数 513 名
平成 20 年	1 月	中央消防署大里分署、妻沼消防署の高規格救急自動車を更新 熊谷市消防団成田分団、佐谷田分団、弥藤吾分団、小島分団 の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 20 年	2 月	熊谷消防署玉井分署の高規格救急自動車を更新
平成 20 年	3 月	予防課、警防課の査察車を更新
平成 20 年	4 月	熊谷市消防本部消防長に松葉一三氏就任
		団員定数を 528 名に改正
		女性消防団員を 17 名採用
平成 20 年	9 月	水難救助に対応するため妻沼消防署に水上バイクを配置
平成 20 年	10 月	中央消防署の救急自動車(2B 型)を高規格救急自動車に更新 熊谷市消防団本部女性小隊車両(可搬ポンプ付)を配置
平成 20 年	12 月	熊谷消防署玉井分署の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 21 年	1 月	熊谷消防署江南分署の高規格救急自動車を更新
		消防音楽隊第 1 回定期演奏会を開催
平成 21 年	3 月	消防本部の指令車を更新
		警防課の査察車を更新し、装備車を多目的車として更新
		熊谷市消防団肥塚分団の普通消防ポンプ自動車を更新
		指令課に高機能消防指令センターを更新整備

主な装置

- ・ メール 119 番・FAX119 番・駆け込み 119 番受付装置
- ・ 発信地表示システム
- ・ 災害情報表示装置
- ・ 消防情報支援システム
- ・ 車両動態位置管理装置
- ・ 自動出動指定装置
- ・ E メール災害情報配信システム
- ・ EPV システム

平成21年10月	中央消防署及び妻沼消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成21年12月	中央消防署の高規格救急自動車を更新 中央消防署新庁舎の基本設計を実施
平成22年 1月	中央消防署新庁舎建設予定地の地質調査を実施
平成22年 2月	熊谷市筑波分団車の水槽付消防ポンプ自動車を普通消防ポンプ自動車に更新 熊谷市大里中央分団及び大里南分団の普通消防ポンプ自動車を更新 消防総務課に研修車（天然ガス車）を配置 消防音楽隊第2回定期演奏会を開催
平成22年 3月	消防本部の空気ボンベ充填庫整備
平成22年 4月	熊谷市消防本部消防長に新井義一氏就任
平成22年 7月	中央消防署新庁舎の実施設計を実施
平成23年 2月	消防音楽隊第3回定期演奏会を開催 熊谷消防署の高規格救急自動車を更新
平成23年 3月	熊谷消防署玉井分署のはしご付消防自動車を先端屈折式はしご車（30m）に更新 中央消防署荒川分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新 熊谷市消防団大幡分団、星宮分団、太井分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防署に支援車を配置（総務省消防庁貸与） 東日本大震災に緊急消防援助隊埼玉県隊として出動
平成23年 4月	熊谷市消防本部消防長に須賀忠氏就任

組織及び予算

歴代消防長

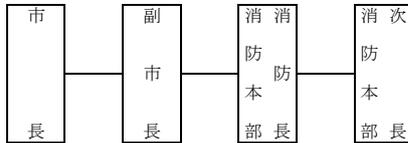
消防長

氏名	在任期間	備考
鴨田宗一	昭和 23 年 3 月 ~ 昭和 31 年 3 月	市消防本部
青木勝之助	昭和 31 年 3 月 ~ 昭和 43 年 3 月	〃
神尾貞治	昭和 43 年 3 月 ~ 昭和 47 年 3 月	〃
吉野利男	昭和 47 年 4 月 ~ 昭和 57 年 4 月	地区消防本部
門倉恒一	昭和 57 年 6 月 ~ 昭和 60 年 3 月	〃
中村和夫	昭和 60 年 4 月 ~ 昭和 63 年 3 月	〃
多田浩	昭和 63 年 4 月 ~ 平成 6 年 3 月	〃
橋本澄男	平成 6 年 4 月 ~ 平成 8 年 3 月	〃
堀越満	平成 8 年 4 月 ~ 平成 11 年 3 月	〃
山川幸男	平成 11 年 4 月 ~ 平成 15 年 3 月	〃
福島正美	平成 15 年 4 月 ~ 平成 17 年 3 月	〃
中島裕一	平成 17 年 4 月 ~ 平成 19 年 2 月	〃
中島裕一	平成 19 年 2 月 ~ 平成 20 年 3 月	市消防本部
松葉一三	平成 20 年 4 月 ~ 平成 22 年 3 月	〃
新井義一	平成 22 年 4 月 ~ 平成 23 年 3 月	〃
須賀忠	平成 23 年 4 月 ~	〃

消 防 組 織 表

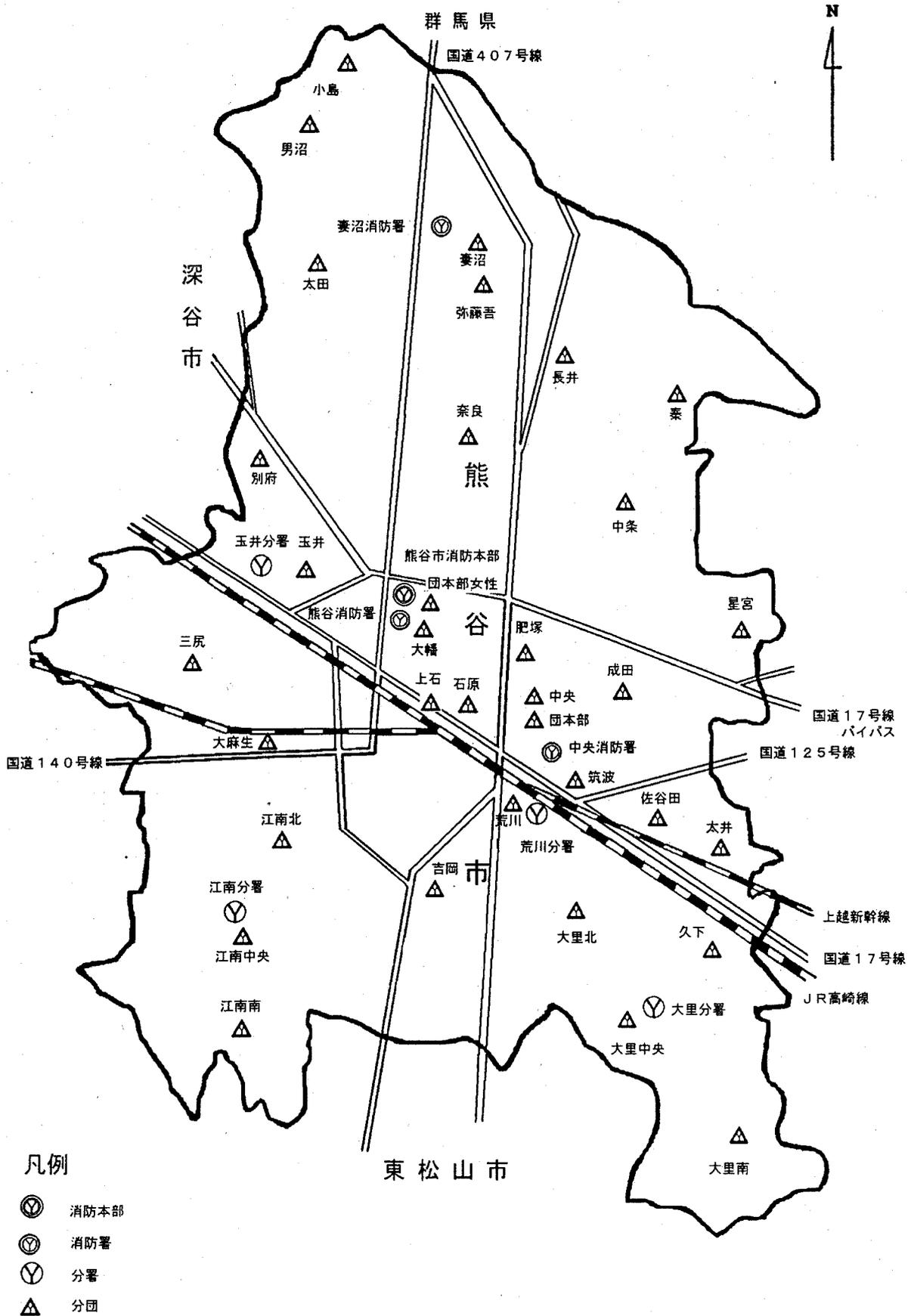
面積 159.88 km²
 世帯数 82,037世帯
 人口 204,501人

(平成23年4月1日現在)

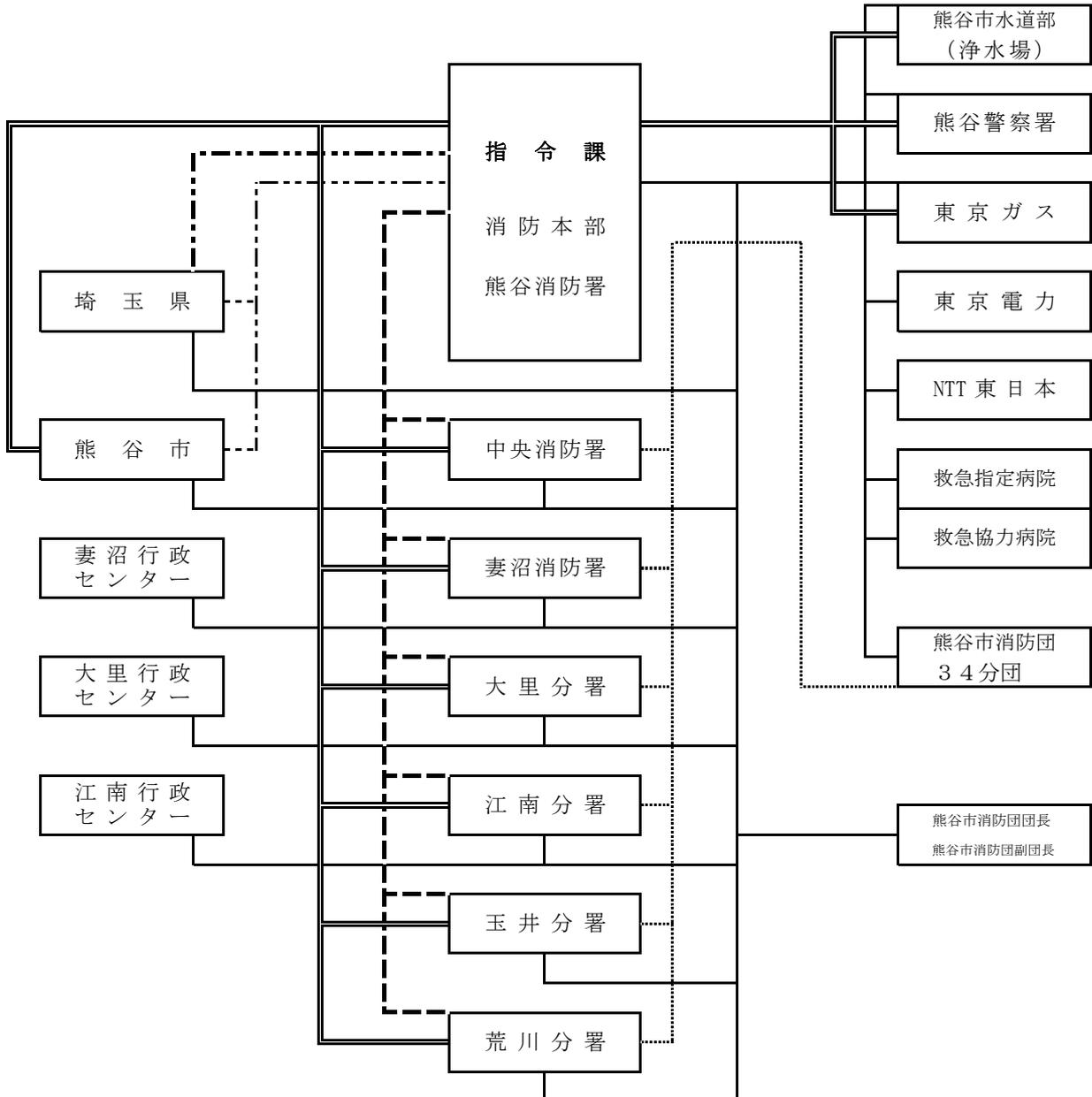
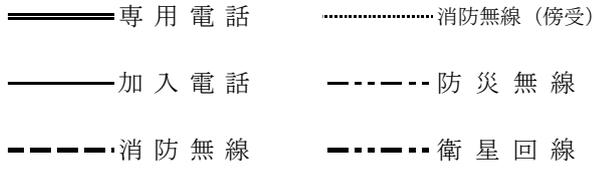


熊谷消防署	消防総務課		総務係	
	予防課		職員係	
			予防係	
			保安係	
	警防課		巡察指導係	
			警防団係	
			消防救急係	
			指揮係 (第一部、第二部)	
	指令課		指令係 (第一部、第二部)	
	予防係			
	第一 部	消防係		消防係
				救助係
救急係		救急係		
		救急係		
消防係		消防係		
		救助係		
玉井分署	第一 部	消防係		
		救助係		
	第二 部	消防係		
		救急係		
江南分署	第一 部	消防係		
		消防係		
予防係				
中央消防署	第一 部	消防第一係		
		消防第二係		
		救急係		
		消防第一係		
		消防第二係		
		救急係		
	荒川分署	第一 部	消防係	
			消防係	
		第二 部	消防係	
			消防係	
	大里分署	第一 部	消防係	
			消防係	
第二 部		消防係		
		消防係		
予防係				
妻沼消防署	第一 部	消防第一係		
		消防第二係		
		救急係		
	第二 部	消防第一係		
		消防第二係		
		救急係		

消防配置図



消 防 通 信 系 統 図



消 防 本 部 事 務 分 掌

消 防 総 務 課	<ol style="list-style-type: none"> 1 消防の総合企画及び調整に関すること。 2 渉外及び儀式に関すること。 3 表彰に関すること。 4 公印の管理に関すること。 5 文書の收受及び管理に関すること。 6 消防が所有する情報の公開及び個人情報の保護に関すること。 7 消防音楽隊に関すること。 8 消防車両その他資機材の年次計画の策定に関すること。 9 特命事項の調査及び研究に関すること。 10 催し物又は各種会議の開催及び調整に関すること。 11 消防長会に関すること。 12 消防年報の編集発行及び消防広報に関すること。 13 請願及び陳情並びに相談等の受付及びその連絡調整に関すること。 14 職員の任用、分限、懲戒及び服務に関すること。 15 職員の衛生管理に関すること。 16 職員の被服貸与に関すること。 17 職員の給料、手当及び公務災害補償に関すること。 18 職員の消防に関する研修計画の策定及び実施に関すること。 19 消防職員委員会に関すること。 20 予算要望の取りまとめに関すること。 21 物品の経理及び保管に関すること。 22 消防長の権限に属する例規類の制定及び改廃に関すること。 23 消防長の権限に属する訓令、通達、指令に関すること。 24 消防情報システムに係る総合的な企画及び調整に関すること。 25 他の課に属さない事項の処理に関すること。 26 本部内の連絡調整に関すること。 27 課の庶務に関すること。
予 防 課	<ol style="list-style-type: none"> 1 火災予防の企画に関すること。 2 予防広報に関すること。 3 屋外の火災予防措置命令に関すること。 4 防火協力団体に関すること。 5 防火対象物の査察及び違反処理に関すること。 6 建築許可等の同意に関すること。 7 防火管理に関すること。 8 危険物等の規制に関すること。 9 危険物製造所等の査察及び違反処理に関すること。 10 消防用設備等（特殊消防用設備等）の設置の指導に関すること。 11 熊谷市火災予防条例（平成18年条例第184号）に関すること。

<p>予 防 課</p>	<p>12 液化石油ガス、産業廃棄物、防災処理等の許可等に係る意見書等の交付に関する こと。 13 火薬類取締法（昭和25年法律第143号）及び火薬類取締法施行規則（昭和2 5年通商産業省令第88号）に基づく事務に関すること。 14 高压ガス保安法（昭和26年法律第204号）に基づく事務に関すること。 15 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律（昭和42年法律第1 49号）に基づく事務に関すること。 16 消防署の予防事務の指導に関すること。 17 その他の予防業務に関すること。 18 課の庶務に関すること。</p>
<p>警 防 課</p>	<p>1 警防業務の総括に関すること。 2 消防部隊の訓練及び演習に関すること。 3 消防機械器具の整備保全及び配置に関すること。 4 消防水利に関すること。 5 公有自動車共済事務に関すること。 6 消防安全管理に関すること。 7 安全運転管理に関すること。 8 開発行為に伴う消防上の指導に関すること。 9 消防相互応援及び広域応援に関すること。 10 火災警報の発令に関すること。 11 救急業務の企画立案に関すること。 12 救急高度化事業の推進に関すること。 13 医療機関との連絡調整に関すること。 14 メディカルコントロール協議会に関すること。 15 救急隊員の教育訓練及び指導に関すること。 16 患者搬送事業の指導及び認定に関すること。 17 応急手当の指導普及に関すること。 18 消防団に関すること。 19 団員に関すること。 20 消防協会に関すること。 21 消防連絡協議会に関すること。 22 指揮活動に関すること。 23 災害活動技術の調査研究に関すること。 24 火災原因及び損害の調査等に係る指導・支援に関すること。 25 火災報告に関すること。 26 庁舎及び構内の営繕に関すること。 27 課の庶務に関すること。</p>

指 令 課	<ol style="list-style-type: none"> 1 出動指令及び転戦指令に関する事。 2 消防緊急通信指令施設の運用及び維持管理に関する事。 3 消防無線の維持管理に関する事。 4 通信技術の指導に関する事。 5 災害情報収集及び活動支援情報の伝達に関する事。 6 口頭指導プロトコールに関する事。 7 気象観測業務に関する事。 8 埼玉県防災行政無線に関する事。 9 衛星通信システムに関する事。 10 緊急通信システムに関する事。 11 ホームページに関する事。 12 課の庶務に関する事。
-------------	--

消 防 署 、 分 署 事 務 分 掌

消防署、分署の事務分掌は、水火災の警戒、鎮圧及び救助救急活動に関する事務のほか、次のとおりとする。

消 防 署	<ol style="list-style-type: none"> 1 公印の保管に関する事。 2 火災予防に関する事。 3 防火対象物の査察及び違反処理に関する事。 4 防火管理に関する事。 5 消防用設備等（特殊消防用設備等）の検査及び検査済証の交付に関する事。 6 消防用設備等（特殊消防用設備等）の点検報告に関する事。 7 消防法令に適合している旨の通知書等の交付に関する事。 8 熊谷市火災予防条例（平成18年条例第184号）に関する事。 9 り災証明及び救急搬送証明に関する事。 10 圧縮アセチレンガス等の届出等に関する事。 11 消防水利の保全調査に関する事。 12 消防団、自衛消防隊及び自治会等に対する訓練指導に関する事。 13 火災原因及び損害の調査に関する事。 14 応急手当の指導普及に関する事。 15 その他消防活動上及び火災予防上必要な事項に関する事。 16 庶務に関する事。
-------------	--

現 有 人 員

平成23年4月1日現在

階 級 区 分		消 防 吏 員							その他	計		
		正 監	監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	士		-	
実 員		1	3	29	46	79	41	10	35	2	246	
実 員 配 置 状 況	消 防 本 部	消 防 長	1								1	
		次 長		1							1	
		消防総務課		1	1	2	5 (2)	4 (2)		3 (3)	1	17 (7)
		予 防 課			2	3	4					9
		警 防 課			5	7	4	1	1		1	19
		指 令 課			3	3	4			1		11
	消 防 署	熊谷消防署		1	3	6	10	9	3	8		40
		玉井分署			2	5	11	7	1	4		30
		江南分署			2	5	7	2		2		18
		中央消防署			4	4	13	9	1	7		38
		荒川分署			1	4	3	1	1	2		12
		大里分署			2	3	8	1	2	2		18
		妻沼消防署			4	4	10	7	1	6		32

※（ ）内書きは、消防総務課付学生等
 ※実際の配置状況による。

消 防 職 員 年 齢 状 況

平成23年4月1日現在

階 級 区 分		消 防 吏 員							その他	計	
		正 監	監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	士		-
18 才 ～ 20 才									10		10
21 才 ～ 25 才								2	17		19
26 才 ～ 30 才							6	8	8		22
31 才 ～ 35 才						11	33			2	46
36 才 ～ 40 才						41	2				43
41 才 ～ 45 才					8	19					27
46 才 ～ 50 才				2	21	4					27
51 才 ～ 55 才				11	11	1					23
56 才 以上		1	3	16	6	3					29
人 員 計		1	3	29	46	79	41	10	35	2	246
平 均 年 齢		57	58	55	50	40	32	27	23	33	40

消 防 職 員 勤 続 年 数 状 況

平成23年4月1日現在

階 級 区 分	消 防 吏 員								その他	計
	正監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士	-	
1年未満								7		7
1年以上～5年未満							3	28		31
5年以上～10年未満						10	7		1	18
10年以上～15年未満					9	19			1	29
15年以上～20年未満					42	12				54
20年以上～25年未満				2	13					15
25年以上～30年未満			1	22	11					34
30年以上	1	3	28	22	4					58
人 員 計	1	3	29	46	79	41	10	35	2	246
平均勤続年数	34	39	36	31	20	12	6	2	10	19

常 備 消 防 管 内 情 勢

平成23年4月1日現在

区 分 所 属 別	世帯数	人口	職員 現在数	職 員 1 人 当 り	
				世帯数	人口
熊谷市消防本部			58		
熊谷消防署	12,234	31,656	40	306	791
玉井分署	16,934	41,459	30	564	1,382
江南分署	4,618	12,229	18	257	679
中央消防署	22,248	53,095	38	585	1,397
荒川分署	13,008	30,351	12	1,084	2,529
大里分署	3,106	8,793	18	173	489
妻沼消防署	9,889	26,918	32	309	841
計	82,037	204,501	246	436	1,088

消 防 職 員 研 修 状 況 (現職)

科 目		年 度	～H17	18	19	20	21	22	計	
消 防 大 学 校	総合教育	幹部科 (H18～)		1	1	1	1	1	5	
		上級幹部科							0	
		新任消防長・学校長科				1			1	
	専科教育	警防科	5	1	1		1		8	
		救助科	4			1			5	
		救急科	4		1				5	
		予防科	4	1				1	6	
		危険物科 (H18～)							0	
		火災調査科	2	1		1			4	
	危機管理・防災教育科	緊急消防援助隊航空コース	1	1	1				3	
		幹部研修科 (～H17)	2						2	
		火災調査講習会	3						3	
		防災講習会	1						1	
緊急消防援助講習		1						1		
埼 玉 県 消 防 大 学 校	初任教育		205	5	6	7	5	8	236	
	専科教育	警防科 (H17～)			2	2	2	2	2	10
		予防査察科 (H16～)	2	2	2	2	2	2	2	12
		火災調査科				2		2		4
		特殊災害科	2	2	2	2			2	10
		救急科	59	6	4	6	7	7	7	89
		救助科 (H2～)	23	2	2	2	2	2	2	33
	特別教育	警防活動教育			1	2	2	2	2	9
		水難救助員教育				3	2			5
		実科指導員科	12			2		2		16
		高度・特別高度救助教育 (H22～)							2	2
	研修	幹部特別教育	7					1		8
		救助課程 (～H1)	22							22
		警防科 (～H16)	22							22
		予防科	18							18
		機関科	7							7
		通信科	14							14
		水難救助科	22							22
		救急隊長課程	4							4
梯子車運用課程		16							16	
警防隊長特別教育		4							4	
了	救助隊長特別教育	3							3	
	救急Ⅱ課程	64							64	
	初級幹部科	11	1		6	1	1	1	20	
	中級幹部科	4	2		3	1	1	1	11	
校	上級幹部科				2		1		3	
	埼玉県救急救命士養成所	6	1	2	1	1	1	1	12	
	救急救命東京研修所	10	1		1	1	1	1	14	
	救急救命九州研修所	4							4	
合 計			568	31	35	40	32	33	739	

消防吏員特殊技能その他資格取得者数

平成23年4月1日現在

種 別		階級別		正監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士	合 計	
		種	別										
自動 運 転 車 免 許	大型	第 一 種			3	28	45	79	43	10	14	222	
		第 二 種					2	2				4	
		特 殊					1	1				2	
	中型	第 一 種									15	15	
	普通	第 一 種		1	3	28	46	80	43	10	21	232	
	特種(含農耕用)						5	3					8
免 許	けん引						1	1				2	
	自動二輪車(含中型)			1	1	25	27	30	11	2	8	105	
移動式クレーン運転士						2	1					3	
自動車整備士		ガソリン2・3級					1					1	
危 険 物 取 扱 者 免 許	甲種	第 1 類				1	1					0	
		第 2 類				1	1					2	
		第 3 類				2	1					3	
		第 4 類	1	2	8	8	22	10	1	2	54		
		第 5 類			1	1					2		
		第 6 類			1	1					2		
	丙種						25	28	1			54	
消 防 設 備 士 免 許	甲種	第 1 類	1	1	1	1						4	
		第 2 類					1					1	
		第 3 類						1				1	
		第 4 類	1	1	2	1		1			7		
		第 5 類				1					1		
		乙種	第 1 類			1	2						3
			第 2 類										0
	第 3 類											0	
	第 4 類				2	1	1		1		5		
	第 5 類										0		
	第 6 類	1	1	5	4	7	6	1		25			
	第 7 類			1	1						2		
	小 型 船 舶 操 縦 士	1 級						1					1
		2 級					2	11	19	6		1	39
特 殊						2	7	12	6		2	29	
救 急 救 命 士						1	6	21	1	2	5	36	
救 急 標 準 資 格 者				1	1	3	55	27	2	1		90	
救 急 II 資 格 者				1	15	30	18					64	
救 急 I 資 格 者			1	2	27	42	20					92	
応急手当指導員インストラクター					2	4	2					8	
応 急 手 当 指 導 員				3	27	41	75	37	2	4		189	
日 赤 救 急 法 救 急 員 資 格 者							60	27			1	88	
J P T E C イ ン ス ト ラ ク タ ー							1	6				7	
J P T E C プ ロ バ イ ダ ー							6	9	4		1	20	

種 別		階級別								合 計
		正監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士	
無線技士	航空特殊				2					2
	陸 特 1				2			1		3
	陸 特 2		1	6	13	12	5		1	38
	陸 特 3		1	2		37	13		22	75
	第4級アマチュア				4	1				6
ボイラー取扱技術者					1	3				4
アーク・ガス溶接士				6	10	25	13			54
玉掛け技能				4	8	8	9		2	31
小型移動式クレーン技能				5	12	9	8		2	36
高所作業車技能				3	1				1	5
16ミリ映写機操作免許			1		2					3
電気工事士					2	2	3			7
毒物劇物取扱者				1						1
特定化学作業主任者				4	8	22	3	2		39
第二種酸素欠乏危険 作業主任者				3	8	8	7		3	29
潜水士				3	10	13	12		2	40
ダイバー技能					4	9	10	1		24
足場組立				2	4					6
防災士				1			1			2
二級建築士					2					2
衛生管理者				4	3					7
テクニカルロープレスキュー					4	6	2			12
スイフトウォーターレスキュー						1	1			2
予防技術 資格者	防火査察		1	8	7	9	1			26
	消防用設備等		1	8	6	6	1			22
	危険物専門員			3	3	7	1			14

平成23年度消防予算

市予算と消防予算

(平成23年4月1日)

一般会計 (千円)	消防費 (千円)	割合 (%)
58,700,000	2,621,268	4.5

消防費内訳

(平成23年4月1日)

款	項	目	予算額 (千円)
消防費	消防費		2,621,268
		消防総務費	2,050,272
		常備消防費	418,543
		消防団費	116,900
		防災費	35,553

消防予算と人口、世帯の割合

(平成23年4月1日)

消防費 (千円)	市人口		世帯	
	人口	1人当り (円)	世帯数	1世帯当り (円)
2,621,268	204,501	12,817	82,037	31,952

消 防 音 楽 隊

儀式、式典及び諸行事に参加し、音楽活動を通じて、広く地域住民に対して、消防に対する認識、理解を深め、防火・防災思想の普及啓発活動を図るため、平成13年10月1日に設立しました。消防関係行事をはじめ、市主催の各種行事にも参加し、演奏を行いながら消防のPRに努めています。

1 編 成 (平成23年4月1日現在)

(1) 隊員編成

隊 長 1 人 副隊長 2 人 隊 員 2 5 人

(2) 使用楽器

楽器名	数量	楽器名	数量
フルート	3	フレンチホルン	2
クラリネット	5	ユーホニウム	2
ソプラノサクソ	1	チューバ	2
アルトサクソ	3	ドラムセット	1
テナーサクソ	2	バスドラム	1
バリトンサクソ	1	シンバル	1
トランペット	5	シロフォン	1
トロンボーン	3	グロッケン	1

2 活動状況 平成22年度

	演 奏 回 数			
	計			
		消防関係	市関係	その他
4月				
5月	1			1
6月				
7月	1			1
8月				
9月				
10月	1			1
11月	7	3	4	
12月				
1月	1		1	
2月	1	1		
3月	1	1		
計	13	5	5	3

消防施設及び機械

消防本部、消防署、分署庁舎一覧表

平成23年4月1日現在

区 分	所 在 地	構 造	延 面 積 (㎡)	建 築 年 月
熊谷市消防本部 熊谷消防署	熊谷市原島 675番地1	鉄筋コンクリート造 三階建	2,432.03	昭和 58.6
訓 練 棟		訓練棟高さ 8.5m2棟 17.0m1棟 8.5m1棟		平成 6.3 (平成15.3)
修 理 工 場		重量鉄骨・スレート 平屋建	85.00	昭和 53.8
高 圧 ガ ス 容 器 貯 蔵 庫		コンクリートブロッ クスレート・平屋建	8.76	昭和 55.3
空 気 ポ ン ベ 充 填 庫		コンクリートブロッ ク造鋼板葺平屋建	18.25	平成 22.3
玉 井 分 署	熊谷市新堀 319番地2	鉄筋コンクリート造 二階建	1,199.61	平成 3.3
江 南 分 署	熊谷市千代 113番地8	鉄筋コンクリート造 二階建	345.60	昭和 48.2
中 央 消 防 署	熊谷市宮町 2丁目137番地	木造モルタル 一部鉄筋垂鉛葺 二階建	527.44	昭和 30.4
荒 川 分 署	熊谷市宮前町 1丁目106番地	鉄筋コンクリート造 二階建	264.24	昭和 36.8
大 里 分 署	熊谷市中曾根 646番地	鉄筋コンクリート造 二階建	345.60	昭和 48.2
妻 沼 消 防 署	熊谷市妻沼 1720番地1	鉄筋コンクリート造 三階建	1,198.80	平成 3.2

消 防 ポ ン プ 自 動 車 等 性 能 一 覧 表

平成23年4月1日現在

	車名	種別	車名型式	機装会社	年式	使用年数	総排気量 (CC)	ポンプ型式	備 考
消 防 本 部	本部指令1号車	指 令 車	トヨタ DBA-GRX120	埼玉 トヨペット	H21	2	2,490		無線付、AT
	総務1号車	連 絡 車	ダイハツ GF-L700S	埼玉 ダイハツ	H12	11	650		
	総務2号車	研 修 車	三菱 GBD-U61V改	埼玉 三菱	H22	1	650		
	予防1号車	査 察 車	スズキ EBD-DA64V	関東イイズ	H20	3	〃		無線付、AT
	予防2号車	連 絡 車	三菱 GD-U61V	三菱テク ノサービス	H12	11	650		〃
	警防1号車	〃	マツダ EBD-DG64V	関東マツダ	H21	2	650		〃
	警防2号車	装 備 車	スズキ EBD-DA64V	関東イイズ	H20	3	〃		無線付、AT 車両整備機材積載
	警防3号車	多目的車	いすゞ CBF- JCSGE25	〃	H21	2	2,480		無線付、AT、ナビ付、AVM
	本部1号車	業 務 車	トヨタ E-JZS155	トヨタ自動車	H8	15	2,990		AT
	熊谷指揮1号車	指 揮 車	トヨタ CBF-TRH 226K	(株)ネイチャー	H18	5	2,690		無線機2台、FAX、PC他 指揮用機材、AVM付、AT、緊 急消防援助隊登録
救急指導車	救急指導車	ニッサン GF-ALE50	埼玉日産	H11	12	3,270		AT	
熊 谷 消 防 署	熊谷1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	ヒノ KC- FH2KLEA改	GMいちはら	H12	11	13,260	A-2級	水槽4,000ℓ、無線付、照明灯 付400W×4灯(メタルハライド ランプ)、水II型、AVM
	熊谷2号車	普通消防 ポンプ自動車	三菱 KK-FG73ED	日本エレ ファント	H15	8	5,240	A-2級	無線付、CD-1型、照明灯500w×2 灯(ハロゲン)、牽引フック付、 AVM、緊急消防援助隊登録
	熊谷救助1号車	救助工作車	ヒノ PB-GX7GFA	帝国繊維	H17	6	6,400		油圧ウインチフロント5t、リヤ10t、クレーン 2.93t、照明装置600W×4灯、無線付、救助II型、 カーナビ付、4WD、ゴムボート、船外機、AVM、緊 急消防援助隊登録
	熊谷救急1号車	高規格救急車	トヨタ CBF- TRH226S	トヨタテク ノクラブ	H22	1	2,690		無線付、自動車電話、カーナ ビ、AT、高規格救急車、4WD バックアイ付、AVM
	熊谷指令1号車	指 令 車	スバル E-BD2改	埼玉スバル	H6	17	1,820		無線付、AT、AVM
	熊谷査察1号車	査 察 車	三菱 GD-U61V	三菱テク ノサービス	H12	11	650		無線付
	熊谷支援1号車	支 援 車	ヒノ BDG- FQ1EWYG	ヨコハマモ ーターセールス	H23	0	12,910		無線付、4WD、パワーゲート 拡張室、定員10(26)人、緊急 消防援助隊登録

	車名	種別	車名型式	機装会社	年式	使用年数	総排気量(C.C)	ポンプ型式	備考
熊谷消防署	熊谷機材1号車	資機材搬送車	三菱 KK-FE53EE	三菱ふそう	H12	11	5,240		無線付、パワーゲート、幌付、3tロングボディー、緊急消防援助隊登録、AVM
	中型輸送車	人員輸送車	三菱 KK-BE66DG	〃	H11	12	4,890		AT、AVM
	熊谷トレーラー	ボートトレーラー	キング	(株)スナガ	H21	2			
	熊谷ボート	救助ボート	ヤマハ W-18E		S58	28			船外機M-25C-25PSトーハツ
	熊谷ボート2	救助ボート	アキレスマリン		H17	6			船外機JET20-20PSマーキュリー
玉井分署	玉井1号車	普通消防ポンプ自動車	ヒノ BDG-XZU334M	(株)モリタ	H20	3	4,000	A-2級	無線付、CD-1型、照明灯150W×2灯(メタハラ)、AVM、キャフス装置、電動ホースカー
	熊谷梯子1号車	はしご付消防自動車	ヒノ LDG-PR1APBF	(株)モリタ	H23	0	8,860		MLJSH5-30S型、無線付、30m級、先端屈折リフター、バスケット付、AVM
	熊谷救助2号車	救助工作車	ヒノ KC-FTI,JHBA	〃	H9	14	7,960		油圧ウインチ、フロント5t、リヤ10t、クレーン2,93t、Ⅲ型、照明装置3,600W、無線付、AVM 埼玉県特別機動援助隊登録
	玉井化学1号車	化学車	ヒノ U-GD3HGAA	GMいちほら	H6	17	7,410	A-2級	水槽1,300ℓ、薬槽500ℓ、無線付、照明灯付500W×8灯、Ⅱ型、AVM
	玉井救急1号車	高規格救急車	トヨタ CBF-TRH226S	トヨタテクノクラフト	H20	3	2,690		高規格救急車、無線付、AT、自動車電話付、4WD、バックアイ付、AVM
	玉井査察1号車	査察車	スズキ V-DE51V	小池株式会社	H10	13	650		無線付
	玉井可搬式ポンプ	小型動力ポンプ	トーハツ V38AS	トーハツ	S49	37	385	B-3級	
江南分署	江南1号車	水槽付消防ポンプ自動車	KK-GD1JGDA改	GMいちほら	H12	11	7,960	A-2級	水槽1,500ℓ、無線付、照明灯付400W×4灯(メタハラ)、水IB型、AVM
	江南救急1号車	高規格救急車	トヨタ CBF-TRH226S	トヨタテクノクラフト	H21	2	2,690		高規格救急車、無線付、AT、自動車電話付、バックアイ付、AVM
	江南査察1号車	査察車	スズキ E-JB32W	小池株式会社	H8	15	1,290		無線付、4WD
	江南トレーラー	ボートトレーラー	エスコ11型		H9	14			
	江南ボート	救助ボート	ヤマハ W-14A		S59	27			
	江南可搬式ポンプ	小型動力ポンプ	トーハツ V38-AS	トーハツ	S49	37	385	B-3級	
中央	中央1号車	水槽付消防ポンプ自動車	ヒノ PB-GD7JGFA改	(株)ネイチャー	H17	6	6,400	A-2級	水槽1,500ℓ、照明装置(メタハラ400W×4灯) 無線付、水I-B型、AVM
	中央2号車	普通消防ポンプ自動車	ヒノ BDG-XZU334M	(株)モリタ	H21	2	4,000	A-2級	無線付、CD-I型、照明装置(メタハラ70W×2)、AVM、緊急消防援助隊登録、キャフス装置

	車名	種別	車名型式	機装会社	年式	使用年数	総排気量(C.C)	ポンプ型式	備考
中央消防署	中央3号車	水槽付消防ポンプ自動車	ヒノBDG-GD7JGWA改	(株)モリタ	H21	2	6,400	A-2級	水槽1,500ℓ、照明装置(メタハラ70W×2)、水I型、無線付、AVM、電動ホースカー
	熊谷梯子2号車	はしご付消防自動車	ヒノU-FR3FPBA	(株)モリタ	H6	17	19,680		30m級(35m)、無線付、AVM
	中央救急1号車	高規格救急車	トヨタCBF-TRH226S	トヨタテクノクラフト	H21	2	2,690		高規格救急車、無線付、AT、AVM自動車電話付、4WD、バックアイ付
	中央救急2号車	〃	トヨタCBF-TRH226S	〃	H20	3	2,690		高規格救急車、無線付、AT、自動車電話付、4WD、バックアイ付、AVM緊急消防援助隊登録
	中央指令1号車	指令車	ニッサンTA-WFY11	埼玉日産	H13	10	1,490		無線付、AT、AVM
	中央査察1号車	査察車	ダイハツGD-S200V	埼玉ダイハツ	H12	11	659		無線付
	中央可搬式ポンプ	小型動力ポンプ	トーハツV38AS	トーハツ	S49	37	385	B-3級	
荒川分署	荒川1号車	水槽付消防ポンプ自動車	ヒノBDG-GD7JGWA改	(株)ネイチャー	H23	0	6,400	A-2級	水槽1,500ℓ、照明装置(メタハラ70W×2)、水I型、無線付、AVM、電動ホースカー
	荒川査察1号車	査察車	スズキV-DE51V	小池株式会社	H10	13	650		無線付
	荒川ボート	救助用ボート	エイボン社		H21	2			船外機M8A-8PS トーハツ
	荒川可搬式ポンプ	小型動力ポンプ	トーハツV38AS	トーハツ	S49	37	385	B-3級	
大里分署	大里1号車	水槽付消防ポンプ自動車	KK-GD1JGDA改	GMいちほら	H12	11	7,960	A-2級	水槽1,500ℓ、無線付、照明灯付400W×4灯(メタハラ)、水IB型、AVM
	大里救急1号車	高規格救急車	トヨタCBF-TRH226S	トヨタテクノクラフト	H20	3	2,690		高規格救急車、無線付、AT、自動車電話付、4WD、バックアイ付、AVM
	大里査察1号車	査察車	スズキE-J B32W	小池株式会社	H8	15	1,290		無線付、4WD
	大里トレーラー	ボートトレーラー	エスコ11型		H9	14			
	大里ボート	救助ボート	ヤマハW-14A		S58	28			
	大里可搬式ポンプ	小型動力ポンプ	シバウラL618Z	シバウラ	H22	1	600	B-2級	
妻沼消防署	妻沼1号車	水槽付消防ポンプ自動車	ヒノBDG-GD7JGWA改	(株)モリタ	H21	2	6,400	A-2級	水槽1,500ℓ、照明装置(メタハラ70W×2)、水I型、無線付、AVM、電動ホースカー、緊急消防援助隊登録
	妻沼2号車	普通消防ポンプ自動車	ニッサンKC-BKR71GN	GMいちほら	H11	12	4,570	A-2級	無線付、CD-I型、牽引フック付、AVM
	妻沼救急1号車	高規格救急車	トヨタCBF-TRH226S	トヨタテクノクラフト	H20	3	2,690		高規格救急車、無線付、AT、自動車電話付、4WD、バックアイ付、AVM

	車名	種別	車名型式	機装会社	年式	使用年数	総排気量 (CC)	ポンプ 型式	備考
妻 沼 消 防 署	妻沼指令 1号車	指令車	イズブ KD- UBS69GW	新星工業	H8	15	3,050		無線付、牽引フック付、AT、 AVM
	妻沼査察 1号車	査察車	ダイハツ GD-S200V	埼玉ダイハツ	H12	11	659		無線付
	妻沼トレー ラー1	ボート トレーラー	サン自動車		H7	16			
	妻沼トレー ラー2	〃	キング	(株)スナガ	H20	3			
	妻沼 ボート	救助用 ボート	スナガ SF-16		H7	16			船外機MERC15-13PSマーキュリー
	熊谷水上 バイク1	水上バイク	BRP社	(株)スナガ	H20	3	1,494		船内機ROTAX1503-131PS
	妻沼可搬 式ポンプ	小型動力 ポンプ	V-15A	トーハツ	S52	34	146	C-1級	
非 常 用 車 両	妻沼予備 水槽車	水槽付消防 ポンプ自動車	ヒノ KC- GDIJGBA	野口ポンプ	H8	15	7,960	A-2級	水槽1,500ℓ照明装置(メタハラ1,800W×2灯)、無線付、 水IB型、AVM
	妻沼予備 ポンプ車	普通消防 ポンプ自動車	いすゞ U-NKR66GN	GMいちほら	H7	16	4,330	A-2級	CD-1型
	妻沼予備 ポンプ車2	〃	〃	〃	H7	16	〃	〃	〃
	熊谷救急 2号車	高規格救急車	トヨタ TC-VCH38S	トヨタテク ノクラフト	14	9	3,370		高規格救急車、自動車電話付 無線付、AT、AVM

救助工作車積載器材保有状況

平成23年4月1日現在

車両	救助工作車Ⅱ型	1	呼吸保護用器具	空気呼吸器	20	
	クレーン最大2.93t			酸素呼吸器	10	
	フロントウインチ 最大5t			簡易呼吸器	14	
	リヤーウインチ 最大10t			防塵マスク	20	
	照明装置600W×4灯			送排風機	2	
	超高压消火装置			耐電手袋	10	
	救助工作車Ⅲ型	1	隊員保護用器具	耐電衣	4	
	クレーン最大2.93t			耐電ズボン	4	
	フロントウインチ 最大5t			耐電長靴	4	
	リアーウインチ 最大10t			防塵メガネ	10	
照明装置 1800W×2灯	携帯警報器			10		
一般救助用器具	カギ付き梯子	2		器具除染	防毒マスク	10
	三連梯子	2			化学防護服（陽圧式化学防護服を除く）	15
	金属製折たたみ梯子	2			陽圧式化学防護服	12
	空気式救助マット	2			耐熱服	2
	救命索発射銃	2			放射線防護服	4
	サバイバースリング及び縛帯	4	特殊ヘルメット		4	
	平担架	2	除染シャワー		2	
	油圧ジャッキ	2	除染剤散布器		2	
重量物排除用器具	油圧スプレッダー	2	水難救助用器具		潜水器具	5
	可搬ウインチ	2			救命胴衣	13
	マンホール救助器具	2		水中投光器	5	
	救助用簡易起重機	1		救命浮環	4	
	マット型空気ジャッキ	2		浮標	1	
	大型油圧スプレッダー	2		救命ボート	1	
	救助用支柱器具	1		船外機	1	
	チェーンブロック	1		水中スクーター	1	
	切断用器具	油圧切断器		2	水中無線機	水中無線機
エンジンカッター		2	水中時計	5		
ガス溶断器		2	水中テレビカメラ	1		
チェーンソー		2	検査器具	画像探索機	1	
鉄線カッター		2		簡易画像探索機	2	
空気鋸		2		電磁波探査装置	1	
大型油圧切断器		2	山岳救助器具	登山器具	5	
空気切断器		3		バスケット担架	4	
コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	1	その他の救助用器具	投光器	2		
破壊用器具	万能斧		3	携帯投光器	7	
	ハンマー		2	携帯拡声器	4	
	携帯用コンクリート破壊器具		2	携帯無線機	3	
	削岩機		2	応急処置用セット	2	
	ハンマードリル		2	緩降機	2	
測定用器具	可燃性ガス測定器	2	ロープ登降機	2		
	有毒ガス測定器	3	車両移動器具	4		
	酸素濃度測定器	4	発電機	4		
	放射線測定器	2				

通 信 施 設

平成23年4月1日現在

区 分	本 部・ 熊 谷 消 防 署	玉井 分署	江南 分署	中央 消防署	荒川 分署	大里 分署	妻沼 消防署	熊谷市 消防団	計	
119回線	12								12	
消防専用電話		1	1	1	1	1	1		6	
加入電話	22	3	3	5	3	3	5		44	
埼玉県衛星通信 ネットワーク	1								1	
埼玉県広域医療情 報システム	1								1	
埼玉県防災情報シ ステム	1								1	
聴覚障害者専用 F A X	1								1	
警察専用電話	1								1	
東京ガス専用電話	1								1	
熊谷市水道部	1								1	
市役所直通電話	1								1	
防災電話	2								2	
着信電話	2								2	
携帯電話	6	2	1	3		1	1		14	
消防救急無線電話機	超短波	基地局	1							1
		車載局	18	6	3	8	2	3	6	46
		携帯局	13	5	2	6	1	2	4	33
		受信機	2	4	3	3	1	3	3	34

119番通報受信状況

平成22年中

	119	携帯119	IP119	合計
火災	37	55	14	106
救急	3,328	1,923	1,351	6,602
救助	9	15	2	26
警戒	24	54	10	88
試験	188	25	18	231
通報訓練	500	16	99	615
間違い	227	187	60	474
いたずら	65	54	11	130
病院問合せ	454	504	266	1,224
一般問合せ	350	311	105	766
携帯転送		113		113
その他	366	345	95	806
合計	5,548	3,602	2,031	11,181

災害等自動案内装置利用状況

年 月	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
1月	12,965	9,064	4,021	6,778	12,876
2月	6,878	11,613	6,125	8,094	5,910
3月	10,595	7,817	6,775	20,862	7,391
4月	9,218	4,895	8,661	6,677	5,692
5月	6,539	4,444	7,035	8,237	6,289
6月	8,587	5,591	6,099	3,977	5,860
7月	8,701	5,982	6,975	4,965	8,714
8月	6,848	7,995	5,553	5,067	4,728
9月	6,953	3,329	4,884	6,729	6,128
10月	7,958	2,615	7,078	9,937	4,598
11月	5,562	5,798	5,046	9,772	7,354
12月	6,324	6,365	7,351	6,221	5,674
合計	97,128	75,508	75,603	97,316	81,214

消 防 水 利

消 防 水 利 状 況

平成23年4月1日現在

種別		分団		石原	荒川	上石	中央	筑波	肥塚	成田	佐谷田	久下	大幡	大麻生
		公設	私設											
防火水槽	100㎡以上	公設		1			2						1	
		私設			1	1	4						1	
	40㎡以上100㎡未満	公設		6	2	10	3		4	3	7	2	12	22
		私設		12	15	22	7	26	6	15	2		20	16
	20㎡以上40㎡未満	公設		4	4	16			6		2		22	15
		私設		19	33	27	23	29	13	18	9	3	41	24
掘井戸	40㎡以上	公設			2		1	1			1	2		
		私設						1						
	20㎡以上40㎡未満	公設		7	1		16	11	5	9	13			
		私設												
	20㎡未満	公設		3	6		1		3	2	1		4	
		私設						1						
さく井式井戸	40㎡以上	公設		1	9		3	16	3	51	45	37		
		私設			3		1	16	11	38	33	13	3	
	20㎡以上40㎡未満	公設		1	3		15	20	35	60	56	12	7	
		私設		1				3	9	13	6	2	3	
	20㎡未満	公設			10				4	4		2		
		私設								1		1		
消火栓	公設		123	148	113	135	146	121	202	102	76	137	134	
	私設													
その他			4	3		1	2		4	2	1	2	4	
合計			182	239	189	209	276	220	420	279	151	253	215	

平成23年4月1日現在

種別		分団		玉井	中条	奈良	別府	三尻	吉岡	太井	星宮	妻沼	弥藤吾	男沼
		公設	私設											
防火水槽	100㎡以上	公設	1					1						
		私設					2	1						
	40㎡以上 100㎡未満	公設	24	1	2	2	45	14		1	3	2	6	
		私設	25	5	13	3	38	19	1		18	14	7	
	20㎡以上 40㎡未満	公設	30		14	18	29	10			2		2	
		私設	45	4	11	8	53	16		1	4	2	1	
掘井戸	40㎡以上	公設		1	2				4		3		1	
		私設												
	20㎡以上 40㎡未満	公設		8	8			1		6	3	1	6	
		私設												
	20㎡未満	公設		2	9	9		2		1	32	19	27	
		私設												
さく井式井戸	40㎡以上	公設		30	7					5	23	8	4	3
		私設		7	3					12	4	24	4	
	20㎡以上 40㎡未満	公設		63	29	7		1	14	4	11	12	7	
		私設		8	1	1		2	1		9	10	1	
	20㎡未満	公設				3		1			20	8	5	
		私設						3			4	3	1	
消火栓	公設	358	124	134	108	300	164	14	42	107	63	58		
	私設									2				
その他			5	2	2	2	3	3		1	2	2	1	
合計			488	255	235	161	471	241	47	83	252	144	126	

平成23年4月1日現在

種別		分団										合計	
		小島	太田	長井	秦	大里中央	大里北	大里南	江南中央	江南北	江南南		
防火水槽	100㎡以上	公設											6
		私設							2				12
	40㎡以上 100㎡未満	公設	1	8	9	2		2	11	13	4	7	228
		私設		6	33	6	1	3	8	24	5	7	377
	20㎡以上 40㎡未満	公設		1	3		10	15	29	15	23	17	287
		私設		2	2	2	1		4	21	3	5	424
掘井戸	40㎡以上	公設						4				22	
		私設										1	
	20㎡以上 40㎡未満	公設		2	4	8		1					110
		私設											
	20㎡未満	公設	12	36	43	38		2					252
		私設											1
さく井式井戸	40㎡以上	公設		8	11	11	7	16	6			304	
		私設		7	12	3	1	1				196	
	20㎡以上 40㎡未満	公設	1	21	29	17	5	16	11			457	
		私設		7	27	3			1			108	
	20㎡未満	公設	10	8	16	6	4	15	5			121	
		私設		10	11	1		1	1			37	
消火栓	公設	13	84	103	64	16	46	85	181	109	117	3,727	
	私設			1							3	6	
その他		1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	58	
合計		38	201	305	162	46	124	163	257	145	157	6,734	

署 別 消 防 水 利 状 況

平成23年4月1日現在

種別		署		熊谷消防署	玉井分署	江南分署	中央消防署	荒川分署	大里分署	妻沼消防署	合計
		公設	私設								
防火水槽	100m ³ 以上	公設		1	2		3				6
		私設		2	2	2	5	1			12
	40m ³ 以上100m ³ 未満	公設		45	71	24	26	18	13	31	228
		私設		71	66	36	70	38	12	84	377
	20m ³ 以上40m ³ 未満	公設		62	77	55	12	19	54	8	287
		私設		102	106	29	114	55	5	13	424
掘井戸	40m ³ 以上	公設		3			2	9	4	4	22
		私設					1				1
	20m ³ 以上40m ³ 未満	公設		17			64	4	1	24	110
		私設									
	20m ³ 未満	公設		15	9		10	9	2	207	252
		私設					1				1
さく井式井戸	40m ³ 以上	公設		38			140	52	29	45	304
		私設		15			111	18	2	50	196
	20m ³ 以上40m ³ 未満	公設		101	7		199	20	32	98	457
		私設		14	1		32	3	1	57	108
	20m ³ 未満	公設			3		8	13	24	73	121
		私設					1	4	2	30	37
消火栓	公設		590	766	407	910	415	147	492	3,727	
	私設				3				3	6	
その他			10	10	3	14	7	5	9	58	
合計			1,086	1,120	559	1,723	685	333	1,228	6,734	

火 災 予 防

防 火 対 象 物 数

平成23年4月1日現在(検査実施対象物数は22年度中)

用 途 別	防 火 対 象 物		
	令第6条該当対象物	検査を要する対象物	検査実施対象物
(1) 劇場、映画館、集会場の類	85	54	
(2) キャバレー、遊技場の類	32	22	
(3) 料理店、飲食店の類	147	51	1
(4) 百貨店、マーケットの類	273	165	2
(5) 旅館、共同住宅の類	1,669	804	4
(6) 病院、幼稚園の類	320	213	11
(7) 小、中、高、大学、各種学校の類	236	223	4
(8) 図書館、博物館の類	7	6	
(9) 公衆浴場、特殊浴場の類	7	4	
(10) 車両の駐車場の類	1	1	
(11) 社寺、教会の類	56	43	
(12) 工場、作業場の類	737	569	4
(13) 自動車車庫、駐車場の類	48	36	
(14) 倉 庫	665	451	2
(15) 前各号に該当しない事業場	748	656	2
(16) 複合用途防火対象物	585	471	11
(16の2) 地 下 街			
(17) 重要文化財、重要民族資料等	5		
(18) ア ー ケ ー ド			
(19) 山 林			
(20) 舟 車			
合 計	5,621	3,769	41

消 防 同 意 件 数

平成22年度中

工 事 別 用 途	新 築	増 築	改 築	移 転	修 繕	模 様 替	用 途 変 更	そ の 他	計
劇場、映画館、集会場の類	1								1
キャバレー、遊技場の類									
料理店、飲食店の類	2								2
百貨店、マーケットの類	13								13
旅館、共同住宅の類	37								37
病院、福祉施設、幼稚園の類	12	6							18
小、中、高、大学 各種学校の類	5								5
図書館、博物館の類									
公衆浴場、特殊浴場の類	1								1
車両の駐車場の類									
社寺、教会の類	6								6
工場、作業場の類	7								7
自動車車庫、駐車場	1								1
倉庫	10								10
前各号に該当しない事業場	44								44
複 合 用 途	9	2					1		12
重要文化財の類									
専用住宅	47								47
危険物製造所等									
建築設備									
そ の 他	77								77
計	272	8					1		281

危険物製造所等施設数

平成23年4月1日現在

製造所等の別		対象施設数	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	混在
製造所		6				3			3
貯蔵所	屋内貯蔵所	114	1			104	1		8
	屋外タンク貯蔵所	102				102			
	屋内タンク貯蔵所	15				15			
	地下タンク貯蔵所	183				183			
	簡易タンク貯蔵所	2				2			
	移動タンク貯蔵所	40				40			
	屋外貯蔵所	28				28			
取扱所	給油取扱所	営業用	54			54			
		セルフ	14			14			
		自家用	72			72			
	第1種販売取扱所	4				4			
	第2種販売取扱所								
	移送取扱所								
	一般取扱所	125				121			4
	計		759	1			742	1	

指定数量の倍数別危険物製造所等施設数

平成23年4月1日現在

施設区分		倍 数								合 計	
		5 倍以下	5 倍を超え 10 倍以下	10 倍を超え 50 倍以下	50 倍を超え 100倍以下	100倍を超え 150倍以下	150倍を超え 200倍以下	200倍を超え 1000倍以下	1000倍を超え 5000倍以下		
製 造 所			4	1	1					6	
貯 蔵 所	屋内貯蔵所	65	19	22	4	2	1	1		114	
	屋外タンク貯蔵所	37	24	24	9	2	2	4		102	
	屋内タンク貯蔵所	12	3							15	
	地下タンク貯蔵所	90	44	33	11	1	3	1		183	
	簡易タンク貯蔵所	2								2	
	移動タンク貯蔵所	24	1	6	8		1			40	
	屋外貯蔵所	9	6	10	1	2				28	
	計	239	101	96	34	7	7	6		490	
取 扱 所	給 油	営業用			2	17	12	13	10		54
		セルフ						1	13		14
	取 扱 所	自家用	6	19	39	7	1				72
		第1種販売取扱所	1	2	1						4
	第2種販売取扱所										
	一般取扱所	43	44	25	5	1	2	5		125	
	計	50	65	67	29	14	16	28		269	
合 計		289	166	163	63	21	23	34		759	

防火対象物別消防訓練実施状況(法第8条)

平成22年度中

用 途 別	実 施 数	参 加 人 員
(1) 劇場、映画館、集会場の類	31	790
(2) キャバレー、遊技場の類	24	151
(3) 料理店、飲食店の類	54	351
(4) 百貨店、マーケットの類	108	1,584
(5) 旅館、共同住宅の類	29	712
(6) 病院、幼稚園の類	293	21,801
(7) 小、中、高、大学、各種学校の類	45	18,173
(8) 図書館、博物館の類	5	128
(9) 公衆浴場、特殊浴場の類	3	47
(10) 車両の停車場の類	1	15
(11) 社寺、教会の類	3	151
(12) 工場、作業場の類	38	4,656
(13) 自動車車庫、駐車場		
(14) 倉庫	5	119
(15) 前各号に該当しない事業場	48	2,075
(16) 複合用途防火対象物	88	5,459
(16の2) 地 下 街		
(17) 重要文化財、重要民族資料等		
(18) ア ー ケ ー ド		
(19) 山 林		
(20) 舟 車		
合 計	775	56,212

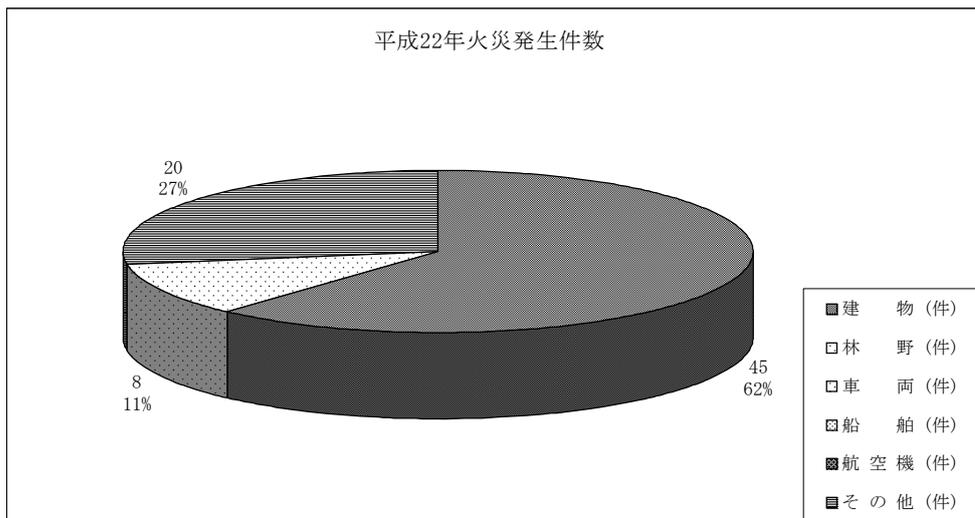
火 災

火災の発生状況

区分	年別比較	平成22年 (A)	平成21年 (B)	増 減 (A) - (B)
火災件数	(件)	73	100	△ 27
建物	(件)	45	69	△ 24
林野	(件)			
車両	(件)	8	8	
船舶	(件)			
航空機	(件)			
その他	(件)	20	23	△ 3
建物焼損床面積	(㎡)	1,525	2,963	△ 1,438
建物焼損表面積	(㎡)	80	121	△ 41
林野焼損面積	(a)			
車両等焼損数	(数)	10	22	△ 12
損害額	(千円)	133,921	131,600	2,321
焼損棟数	(棟)	55	100	△ 45
り災世帯数	(世帯)	27	45	△ 18
り災人員	(人)	72	140	△ 68
死者	(人)	5		5
65歳以上の死者	(人)	1		1
負傷者	(人)	7	19	△ 12
30日死者	(人)		1	△ 1
出火率		3.5	4.9	△ 1.4

※ △は減少を示す。

※ 火災に直接起因して48時間以内に亡くなった者「死者」の欄に計上し、負傷者のうちでも48時間を超え30日以内に亡くなった者を「30日死者」として取り扱ってます。



月別火災発生状況

平成22年中

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災件数(件)	12	3	9	5	9	7	8	6	5	1	5	3	73
建物	6	2	7	2	4	2	7	5	3		4	3	45
林野													
車両	1		1	2	1	1				1	1		8
船舶													
航空機													
その他	5	1	1	1	4	4	1	1	2				20
焼損棟数(棟)	8	3	11	3	4	2	8	5	3		4	4	55
全焼	3		2	1			1	1	1			3	12
半焼		1	2	1			1				1		6
部分焼	3	1	4		2		3	1	1				15
ぼや	2	1	3	1	2	2	3	3	1		3	1	22
死傷者(人)	3	2	1				3					3	12
死者		1					2					2	5
負傷者	3	1	1				1					1	7
(30日死者)													
り災世帯(世帯)	3	3	4	1	2		6	3			2	3	27
全損	2		1				1	2				2	8
半損		1	1				1				1		4
小損	1	2	2	1	2		4	1			1	1	15
り災人員(人)	10	9	10	1	4		18	9			6	5	72
建物焼損床面積(㎡)	312	36	175	55		1	271	189	24		41	421	1,525
建物焼損表面積(㎡)	14	7	16		17		25					1	80
林野焼損面積(a)													
車両等焼損面積(数)	1		2	2	1	1				1	1	1	10
損害額(千円)	41,517	1,204	13,363	995	306	625	17,268	20,206	1,223	1,262	9,835	26,117	133,921
建物													
建築物	35,251	1,099	11,279	782	145	261	12,276	18,762	1,002		5,135	21,580	107,572
収容物	4,456	101	1,873	3	85	19	4,992	1,444	221		4,480	4,502	22,176
林野													
車両	1,372		201	210	21	300				1,262	200	35	3,601
船舶													
航空機													
その他	438	4	10		55	45					20		572
爆発													

※ 火災に直接起因して48時間以内に亡くなった者「死者」の欄に計上し、負傷者のうちでも48時間を超え30日以内に亡くなった者を「30日死者」として取り扱っています。

署別火災発生状況

平成22年中

区 分	熊谷 消防署	玉井 分署	江南 分署	中央 消防署	荒川 分署	大里 分署	妻沼 消防署	合計	前年 合計	増減数
火災件数(件)	9	15	6	16	13	4	10	73	100	△ 27
建物	6	10	4	9	8	1	7	45	69	△ 24
林 野										
車 両	1	1	1	4		1		8	8	
船 舶										
航空機										
その他	2	4	1	3	5	2	3	20	23	△ 3
焼損棟数(棟)	6	11	4	12	11	3	8	55	100	△ 45
全 焼	2	3	1	2	1	1	2	12	29	△ 17
半 焼		1	2	1	2			6	5	1
部分焼	2	2		3	4	2	2	15	26	△ 11
ぼ や	2	5	1	6	4		4	22	40	△ 18
死傷者(人)	2	1	1	1	3	1	3	12	19	△ 7
死 者	1		1		1	1	1	5		5
負傷者	1	1		1	2		2	7	19	△ 12
(30日死者)									1	△ 1
り災世帯(世帯)	1	7	3	1	8	1	6	27	45	△ 18
全 損		3	1		1	1	2	8	9	△ 1
半 損		1	2		1			4	2	2
小 損	1	3		1	6		4	15	34	△ 19
り災人員(人)	5	22	10	3	16	4	12	72	140	△ 68
建物焼損床面積(㎡)	14	475	266	138	113	163	356	1,525	2,963	△ 1,438
建物焼損表面積(㎡)	2	15		17	33	4	9	80	121	△ 41
林野焼損面積(a)										
車両等焼損面積(数)	1	2	1	4	1	1		10	22	△ 12
損害額(千円)	738	48,902	24,748	9,102	6,322	23,714	20,395	133,921	131,600	2,321
建物										
建築物	390	37,611	20,540	5,183	5,389	20,540	17,919	107,572	82,018	25,554
収容物	131	11,123	4,187	1,181	259	2,845	2,450	22,176	26,525	△ 4,349
林 野										
車 両	200	165	21	2,715	200	300		3,601	4,308	△ 707
船 舶										
航空機										
その他	17	3		23	474	29	26	572	1,040	△ 468
爆発									17,079	△ 17,079

※ 火災に直接起因して48時間以内に亡くなった者「死者」の欄に計上し、負傷者のうちでも48時間を超え30日以内に亡くなった者を「30日死者」として取り扱っています。

分団別火災発生状況

平成22年中

月別 分団別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
石原			1					2					3
荒川	1	1					1					1	4
上石													
中央			1										1
筑波	2			1		1					1		5
肥塚													
成田			1	1					1				3
佐谷田						1			1		1		3
久下			1										1
大幡			1			1			1		1		4
大麻生	1			1					1				3
玉井			1			1					1		3
中条					1		1						2
奈良													
別府					1							1	2
三尻	4	1		1	1		1	1	1				10
吉岡	1		1		1	1		1					5
太井	1									1	1		3
星宮							1						1
妻沼								1					1
弥藤吾			1										1
男沼					1								1
小島													
太田													
長井				1	2		3						6
秦	1												1
大里中央		1											1
大里北	1												1
大里南					1	1							2
江南中央													
江南北			1									1	2
江南南					1	1	1	1					4
合計	12	3	9	5	9	7	8	6	5	1	5	3	73

月別、時刻別火災発生件数

平成22年中

時刻 \ 月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
0-1	1	1	1		1		1						5
1-2	1											2	3
2-3			2	1		1				1			5
3-4			1		1								2
4-5					1			1					2
5-6				1		1	1					1	4
6-7													
7-8	1										1		2
8-9	1		2						1				4
9-10	1	1	1										3
10-11					1		1	1	1				4
11-12						1							1
12-13	2		1		1	1			1				6
13-14	2			2			1						5
14-15								1	1		1		3
15-16			1		2						1		4
16-17	1				1	1	1				1		5
17-18		1			1	2	1						5
18-19							1						1
19-20													
20-21				1			1						2
21-22	1							2					3
22-23	1								1				2
23-24											1		1
不明								1					1
合計	12	3	9	5	9	7	8	6	5	1	5	3	73

損害額及び焼損面積区分による火災件数

平成22年中

損 害 見 積 額 区 分	件 数	焼 損 面 積 区 分	件 数
1万円未満	29	3.3㎡未満	27
1万円以上 50万円未満	23	3.3㎡以上 50㎡未満	9
50万円以上 100万円未満	2	50㎡以上 100㎡未満	3
100万円以上 200万円未満	8	100㎡以上 200㎡未満	4
200万円以上 300万円未満		200㎡以上 300㎡未満	2
300万円以上 400万円未満	3	300㎡以上 400㎡未満	
400万円以上 500万円未満		400㎡以上 500㎡未満	
500万円以上 600万円未満	1	500㎡以上 600㎡未満	
600万円以上 700万円未満		600㎡以上 700㎡未満	
700万円以上 800万円未満		700㎡以上 800㎡未満	
800万円以上 900万円未満	1	800㎡以上 900㎡未満	
900万円以上 1,000万円未満	1	900㎡以上 1,000㎡未満	
1,000万円以上 1,500万円未満	1	1,000㎡以上	
1,500万円以上	4	(林野、車両、その他)	28
合 計	73	合 計	73

* 焼損表面積については、含まないものとする。

出火原因別火災発生件数

年別比較 区分	平成22年 (A)	平成21年 (B)	増 減 (A) - (B)
たばこ	5	2	3
こんろ	4	8	△ 4
かまど		1	△ 1
風呂かまど		2	△ 2
炉			
焼却炉			
ストーブ	3	3	
こたつ			
ボイラー			
煙突・煙道	1		1
排気管			
電気機器	2		2
電気装置	2	1	1
電灯・電話等の配線	1	2	△ 1
内燃機関	1	1	
配線器具	2		2
火遊び	1	7	△ 6
マッチ・ライター	1	1	
焚き火	3	6	△ 3
溶接機・溶断機	2		2
灯火		1	△ 1
衝突の火花		1	△ 1
取灰			
火入れ	1	1	
放火	19	47	△ 28
放火の疑い	6	1	5
その他	12	7	5
不明・調査中	7	8	△ 1
合計	73	100	△ 27

※ △は減少を示す。

※ 出火原因区分は、火災報告取扱要領国表03表による

曜日別火災発生状況

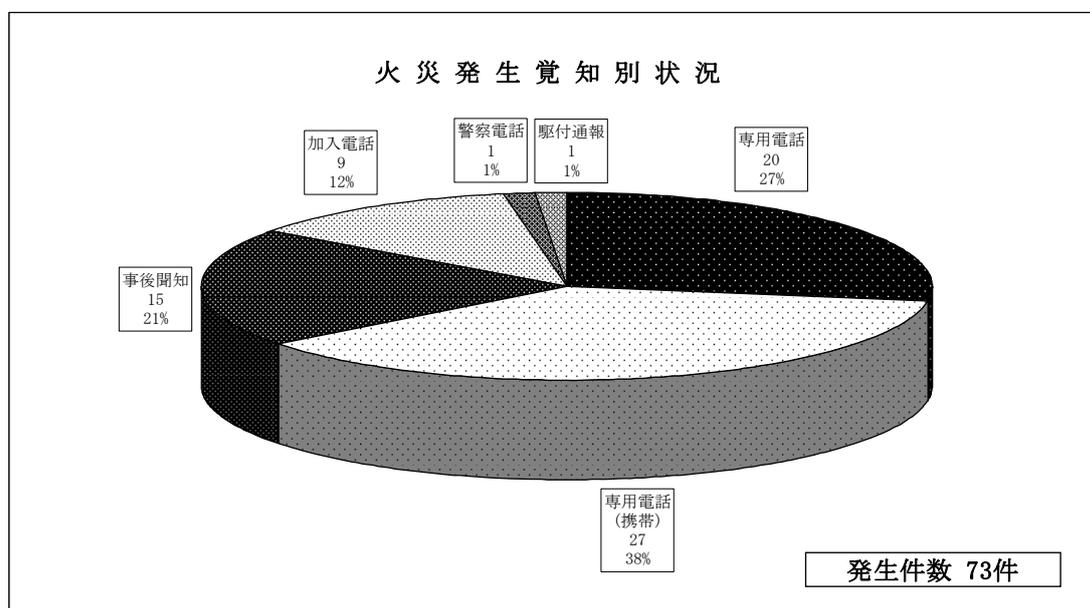
曜日	種別	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災	合計
	日曜日		7		1			5
月曜日		7		2			5	14
火曜日		4		1				5
水曜日		8					3	11
木曜日		4					4	8
金曜日		5		2			2	9
土曜日		9		2			1	12
不明		1						1
合計		45		8			20	73

時間別火災発生状況

時刻	種別	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災	合計
	0 ~ 1		5					
1 ~ 2		3						3
2 ~ 3		2		2			1	5
3 ~ 4		2						2
4 ~ 5		1					1	2
5 ~ 6		4						4
6 ~ 7								
7 ~ 8		1		1				2
8 ~ 9		2					2	4
9 ~ 10		1		2				3
10 ~ 11		3		1				4
11 ~ 12				1				1
12 ~ 13		5					1	6
13 ~ 14		2		1			2	5
14 ~ 15		2					1	3
15 ~ 16		3					1	4
16 ~ 17		3					2	5
17 ~ 18							5	5
18 ~ 19		1						1
19 ~ 20								
20 ~ 21		2						2
21 ~ 22		1					2	3
22 ~ 23							2	2
23 ~ 24		1						1
不明		1						1
合計		45		8			20	73

火災発生覚知別状況

区分 月別	専用電話	専用電話 (携帯)	事後聞知	加入電話	警察電話	駆付通報	その他	合 計
1月	4	4	2	1	1			12
2月		2	1					3
3月	1	7		1				9
4月	2	2	1					5
5月	2	4	2			1		9
6月	1	1	2	3				7
7月	5	3						8
8月	2	1	2	1				6
9月		1	3	1				5
10月	1							1
11月	2	1	2					5
12月		1		2				3
合 計	20	27	15	9	1	1		73



主なる火災（損害額1,000万円以上の火災）

月 日	所 在 地	用 途	焼損面積 (㎡)	損害額 (千円)
1月17日	熊谷市中曾根1415番地	住宅	床163㎡ 表4㎡	23,387千円
1月25日	熊谷市日向423番地	〃	床139㎡	15,277千円
7月24日	熊谷市板井754番地	〃	床54㎡	11,105千円
8月25日	熊谷市三ヶ尻1672番地	〃	床174㎡	18,889千円
12月13日	熊谷市東別府2204番地4	〃	床238㎡	17,724千円

死者を伴った火災

月 日	覚知時間	所 在 地	火災種別	死者数 (死者・30日死者)
2月4日	17時36分	熊谷市高本245番地3	その他の火災	1人 (死者)
7月18日	0時40分	熊谷市善ヶ島1056番地	建物火災	〃
7月26日	17時00分	熊谷市今井1332番地3	〃	〃
12月7日	5時07分	熊谷市伊勢町284番地	メゾン栗田A棟102号室	〃
12月29日	1時59分	熊谷市三本1504番地1	〃	〃

※ 火災に直接起因して48時間以内に亡くなった者「死者」、負傷者のうちでも48時間を超え30日以内に亡くなった者を「30日死者」として取り扱っています。

救 急 ・ 救 助

事故種別出動状況等

平成22年中

種別	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年 合計	増減 数
	出動件数		684	608	648	653	613	624	765	717	669	635	636	736	7,988	7,168
救急事故種別件数	火災	6	1	8	2	3	2	7	2	2	2	4	3	42	55	△ 13
	自然															
	水難			1				1	2					4	1	3
	交通	83	92	83	83	85	89	95	85	99	91	93	81	1,059	970	89
	労災	7	7	8	9	10	9	11	13	8	3	12	9	106	100	6
	運動	5	7	2	20	15	10	10	14	9	12	8	4	116	110	6
	一般	86	61	80	67	66	84	65	79	79	76	80	103	926	824	102
	加害	4	3	4	10	6	6	9	5	5	10	6	7	75	77	△ 2
	自損	10	9	13	20	13	16	12	16	6	13	8	5	141	136	5
	急病	417	368	387	376	348	350	492	436	383	382	380	466	4,785	4,210	575
	その他	66	60	62	66	67	58	63	65	78	46	45	58	734	685	49
傷病者 搬送件数		619	563	591	594	561	575	684	647	610	579	581	651	7,255	6,460	795
不搬送件数		65	45	57	59	52	49	81	70	59	56	55	85	733	708	25
医師器材 搬送件数																
搬送人員	男	359	305	323	332	316	322	396	342	317	292	311	380	3,995	3,546	449
	女	270	268	279	271	260	267	302	308	297	307	282	274	3,385	3,033	352
	計	629	573	602	603	576	589	698	650	614	599	593	654	7,380	6,579	801

事故種別署別出動状況

平成22年中

種別		署別							合計
		熊谷消防署	玉井分署	江南分署	中央消防署	荒川分署	大里分署	妻沼消防署	
出動件数		1,656	1,382	741	2,658		681	870	7,988
救急事故種別件数	火災	4	5	3	21		5	4	42
	自然								
	水難	1	1				1	1	4
	交通	250	199	74	346		83	107	1,059
	労災	15	16	18	20		13	24	106
	運動	38	14	11	37		5	11	116
	一般	170	164	80	336		65	111	926
	加害	23	11	2	25		3	11	75
	自損	27	18	17	51		11	17	141
	急病	991	844	453	1,497		436	564	4,785
	その他	137	110	83	325		59	20	734
傷病者搬送件数		1,504	1,260	696	2,395		605	795	7,255
不搬送件数		152	122	45	263		76	75	733
医師器材搬送件数									
搬送人員(人)	男	821	677	379	1,330		333	455	3,995
	女	717	607	332	1,093		284	352	3,385
	計	1,538	1,284	711	2,423		617	807	7,380

事故種別時刻別搬送人員

平成22年中(単位:人)

時刻 事故種別	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	合計
火災	2		1		2	1	2						8
自然													
水難			1								1		2
交通	42	28	23	65	134	127	107	143	163	140	67	51	1,090
労災	2	1	2	2	23	24	12	14	14	8	1	2	105
運動				1	8	26	34	28	14	3	3		117
一般	41	25	29	50	115	94	97	101	95	86	78	51	862
加害	14	4	4	1	3	3		6	4	7	10	9	65
自損	10	4	5	8	7	8	11	10	8	15	11	9	106
急病	268	207	224	345	492	435	435	355	443	477	397	342	4,420
その他	7	13	8	7	84	118	128	88	72	42	23	15	605
合計	386	282	297	479	868	836	826	745	813	778	591	479	7,380

事故種別傷病程度別搬送人員

平成22年中(単位:人)

傷病程度 事故種別	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	合 計
火 災		1	2	5		8
自 然						
水 難			2			2
交 通	7	36	119	928		1,090
労 災		11	37	57		105
運 動		4	24	89		117
一 般	9	124	231	498		862
加 害		1	7	57		65
自 損	9	12	41	44		106
急 病	150	501	1,805	1,964		4,420
その他	4	175	384	42		605
合 計	179	865	2,652	3,684		7,380

救急告示医療機関及びその他医療機関への搬送状況

平成22年中(単位:人)

種別		区分		合計	前年計	増減数 △は減
		救急告示医療機関	その他の医療機関			
男女別	男	3,570	425	3,995	3,523	472
	女	3,066	319	3,385	3,056	329
	計	6,636	744	7,380	6,579	801
事故種別	急病	3,926	494	4,420	3,855	565
	交通	1,069	21	1,090	1,003	87
	一般負傷	838	24	862	764	98
	その他	797	211	1,008	957	51
	計	6,630	750	7,380	6,579	801
傷病程度別	死亡	163	16	179	156	23
	重症	710	155	865	793	72
	中等症	2,301	351	2,652	2,319	333
	軽症	3,456	228	3,684	3,309	375
	その他				2	△ 2
	計	6,630	750	7,380	6,579	801

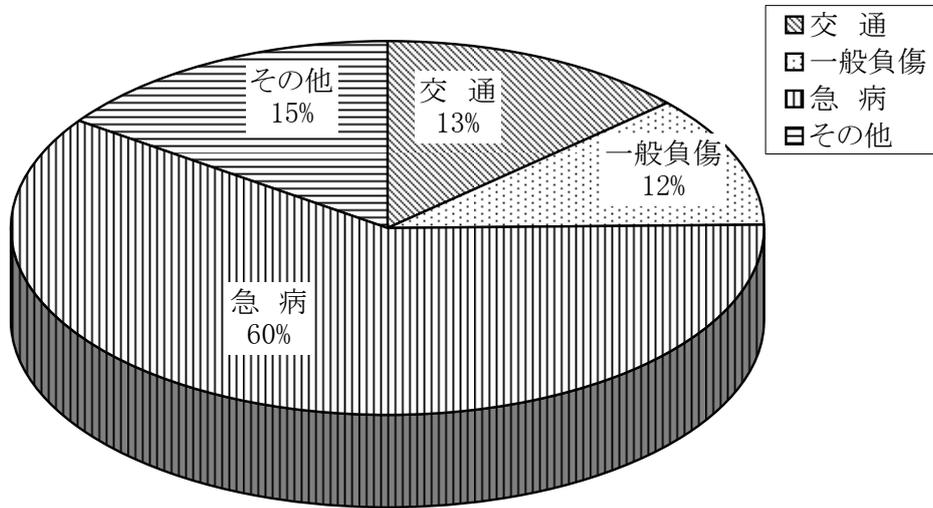
救急告示医療機関 (熊谷市)		
名称	認定日	告示
熊谷外科病院	H21. 2. 28	H21. 3. 3告示第 296号
埼玉慈恵病院	H22.12.17	H23.1.28告示第133号
熊谷総合病院	H22.12.17	H23.1.28告示第133号
関東脳神経外科病院	H22.12.17	H23.1.28告示第133号
熊谷生協病院	H22. 9. 3	H22. 9. 10告示第1218号

傷病程度 (救急事故等報告要領に基づく)	
重症	3週間以上の入院加療を必要とするもの。
中等症	重症又は軽症以外のもの。
軽症	入院加療を必要としないもの。
死亡	初診時において、死亡が確認されたもの。
その他	医師の診断がないもの又は搬送先が医療機関ではない場所へ搬送されたもの。

事故種別出動件数

	交通	一般負傷	急病	その他	合計
出動件数	1,059	926	4,785	1,218	7,988

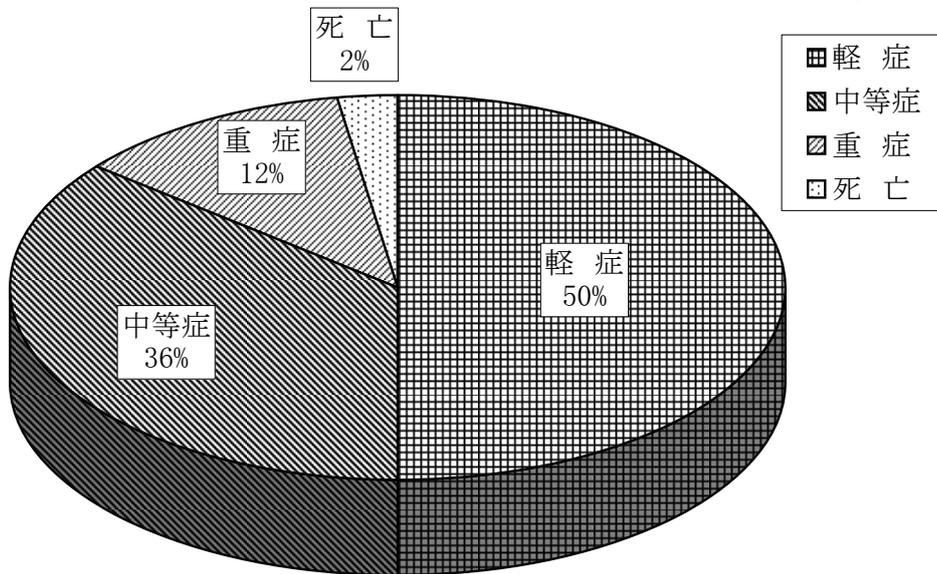
単位:件



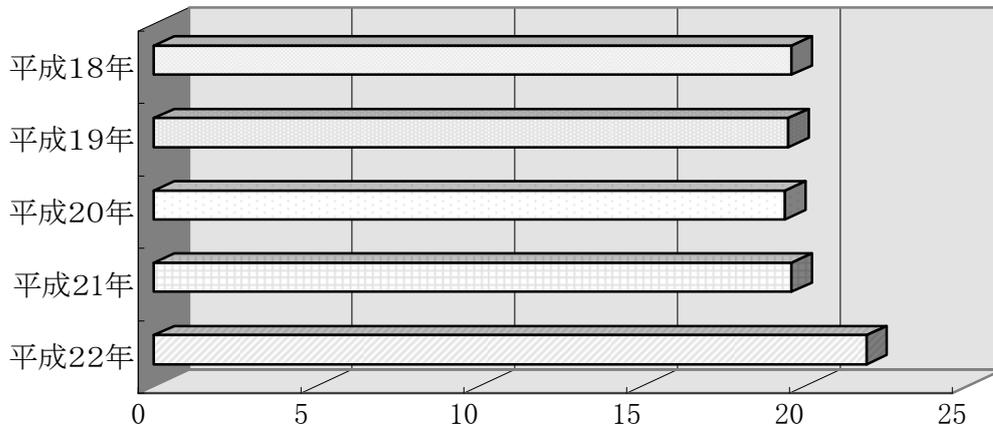
程度別搬送人員

	軽症	中等症	重症	死亡	その他	合計
搬送人員	3,684	2,652	865	179		7,380

単位:人



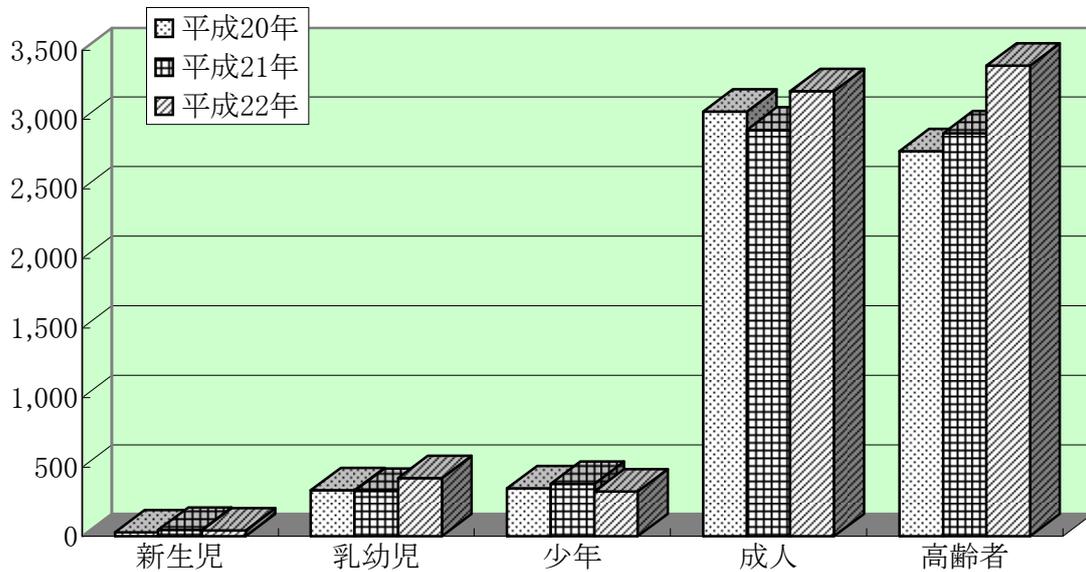
一日平均救急出動件数の年別比較



	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
出動件数	19.6	19.5	19.4	19.6	21.9

単位:件

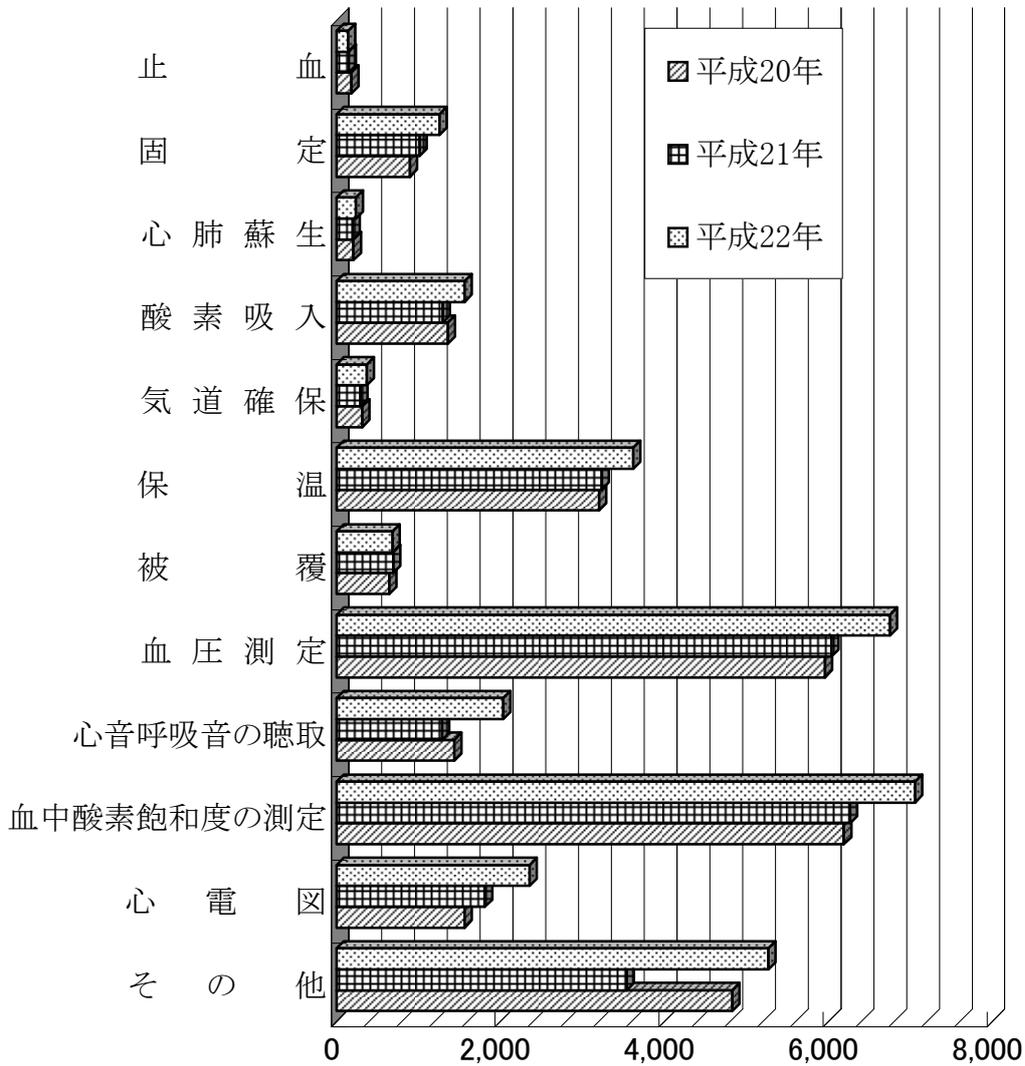
年齢区分別搬送人員



年齢別	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
	生後29日未	生後29日以上満7歳未	満7歳以上満18歳未	満18歳以上満65歳未	満65歳以上	
平成20年	30	333	347	3,056	2,773	6,539
平成21年	47	327	377	2,926	2,902	6,579
平成22年	45	419	325	3,203	3,388	7,380

単位:人

救急隊員の行った応急処置件数

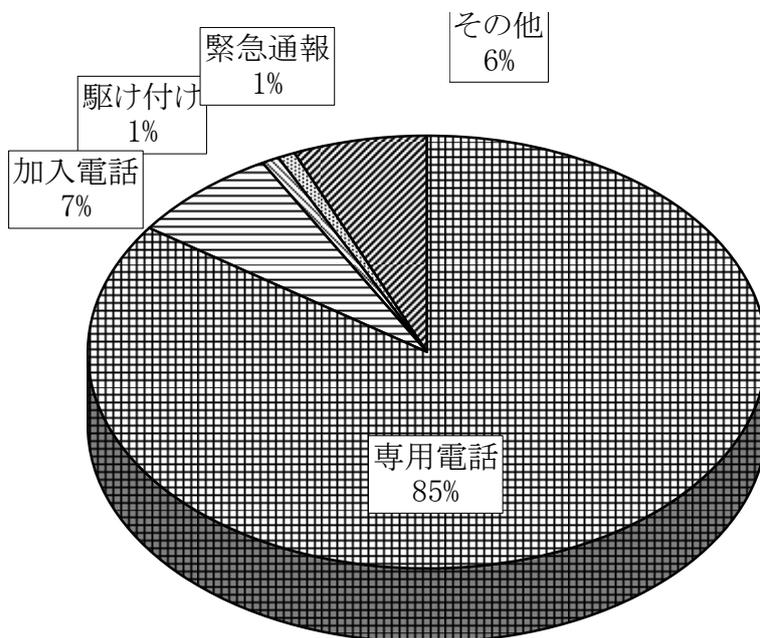


	平成20年	平成21年	平成22年
止血	180	150	144
固定	894	1,012	1,258
心肺蘇生	209	194	234
酸素吸入	1,361	1,297	1,563
気道確保	312	293	371
保温	3,205	3,235	3,620
被覆	645	690	683
血圧測定	5,958	6,037	6,753
心音呼吸音の聴取	1,438	1,286	2,032
血中酸素飽和度の測定	6,190	6,262	7,060
心電図	1,562	1,810	2,357
その他	4,828	3,541	5,265

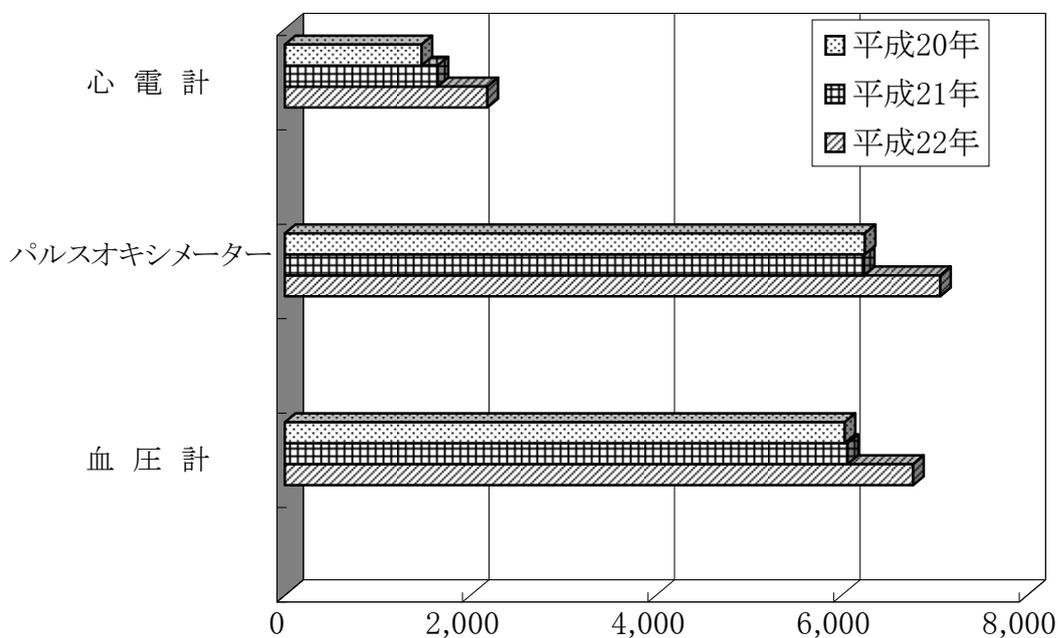
単位:件

救急事故覚知別状況

覚知別	専用電話	加入電話	駆け付け	緊急通報	その他	合計
回数	6,768	575	78	62	505	7,988



医療資器材の使用状況



	血圧計	パルスオキシメーター	心電計
平成20年	6,034	6,251	1,474
平成21年	6,065	6,241	1,647
平成22年	6,771	7,063	2,183

救 助 統 計

	平成22年			平成21年			出動件数 増 減
	出動件数	活動件数	救助人員	出動件数	活動件数	救助人員	
総 数	113	79	57	125	95	53	△12
火 災	32	32	5	45	45	2	△13
交通事故	40	24	29	32	14	17	8
水難事故	4	2	2	2	1		2
風水害等 自然災害							0
機械による 事故	3	2	7				3
建物等による 事故	9	9	7	7	6	5	2
ガス及び 酸欠事故	5	3	1	4	2	2	1
爆発事故							0
その他	20	7	6	35	27	27	△ 15

- ※ 1 出動件数とは、救助隊が救助を目的として出動した件数をいう。
 2 活動件数とは、救助隊が要救助者を救出するために活動した件数をいう。
 3 救助人員とは、救助隊により救出された人員をいう。

月別救助出動件数

平成22年中

区分		月別												計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火災	出動	3	1	7	1	2	1	7	2	1	1	3	3	32
	活動	3	1	7	1	2	1	7	2	1	1	3	3	32
	救助人員		1	1				2					1	5
交通	出動	6	5	2	3	2	5	6	3	6	1	1		40
	活動	3	3	1	2	1	5	3		5		1		24
	救助人員	5	3	1	2	1	7	3		6		1		29
水難	出動	1		1		1			1					4
	活動					1			1					2
	救助人員					1			1					2
自然災害	出動													0
	活動													0
	救助人員													0
機械	出動			1	1					1				3
	活動			1						1				2
	救助人員			1						6				7
建物	出動	2	1				2		1	2	1			9
	活動	2	1				2		1	2	1			9
	救助人員	2					2		1	1	1			7
ガス	出動	1			1			2	1					5
	活動	1						2						3
	救助人員	1												1
爆発	出動													0
	活動													0
	救助人員													0
その他	出動	3		1	1	1	2	4	2	2	1	2	1	20
	活動	2					1	2	1			1		7
	救助人員	2					1	2				1		6
合計	出動	16	7	12	7	6	10	19	10	12	4	6	4	113
	活動	11	5	9	3	4	9	14	5	9	2	5	3	79
	救助人員	10	4	3	2	2	10	7	2	13	1	2	1	57

事故種別発生場所別活動件数

平成22年中

事故種別 発生場所		火 災		交通 事故	水難 事故	自然 災害	機械 事故	建物 事故	ガス 酸欠 事故	爆発 事故	その他	計
		建物	建物 以外									
屋 内	住 居	19						7	3		2	31
	その他の屋内	10					1	1			2	14
屋 外	道 路											0
	高速自動車・国道											0
	その他の道路		1	21							1	23
外 面	水 面				2							2
	内 水 面				2							2
	外 水 面											0
	山 岳											0
	その他の屋外	1	1	3			1	1			2	9
	地 下											0
	そ の 他											0
	計	30	2	24	2	0	2	9	3	0	7	79

※ 「火災」とは、救助隊及び消防隊が出動した火災の内、消防機関が何らかの救助活動を行った火災をいう。

事故種別出動車両等台数

平成22年中

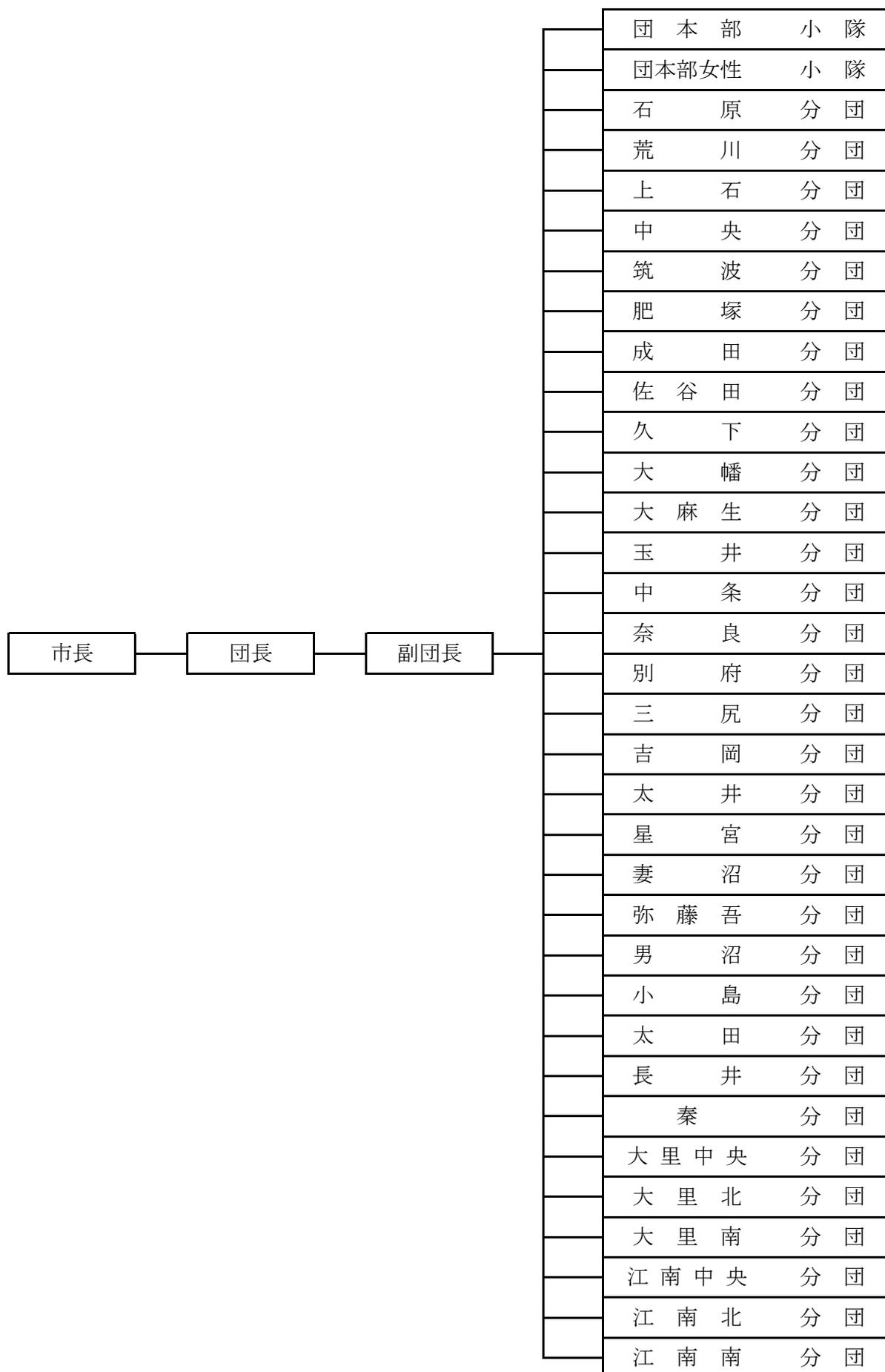
事故種別 車 両		火 災		交通 事故	水難 事故	自然 災害	機械 事故	建物 事故	ガス 酸欠 事故	爆発 事故	その他	計	
		建物	建物 以外										
出 動 車 両	救助工作車	24	2	16	3		2	7	3		5	62	
	消防ポンプ自動車	29	2	20	11		3	8	6		5	84	
	はしご車											0	
	化学車	1										1	
	指揮車	8	1	15	3		1	4	3		2	37	
	救急自動車	5		25	4		2	7	3		3	49	
	船舶											0	
	ヘリコプター											0	
	その他				5								5
	消防団車両												0
	計	67	5	76	26	0	8	26	15	0	15	238	

※ 1 事故種別ごとに、救助活動のために出動した車両の台数について記載。

2 「火災」とは、救助隊及び消防隊が出動した火災の内、消防機関が何らかの救助活動を行った火災をいう。

消 防 団

消 防 団 組 織 表



消防団車庫一覽表

熊谷市消防団

平成23年4月1日現在

分 団 名	所 在 地	構 造	延面積(㎡)	建築年月
団本部 小隊	宮町1丁目121	車庫鉄骨スレート平屋建 待機室 木造平屋建	18.00 26.50	S53.10 H2.3
石 原 分団	本石2丁目53	鉄骨造陸屋根二階建	142.71	S48.12
荒 川 〃	宮前1丁目106			荒川分署内
上 石 〃	石原932-2	鉄筋コンクリート二階建	75.19	S53.7
中 央 〃	宮町1丁目121	〃	47.02	S42.3
筑 波 〃	筑波1丁目69	〃	244.49	S54.10
肥 塚 〃	肥塚1丁目2番15号	鉄筋コンクリート平屋建	74.39	S60.3
成 田 〃	上之806-1	鉄筋コンクリート一部木 造瓦葺平屋建	87.99	S50.3
佐谷田 〃	佐谷田371-17	鉄筋コンクリート平屋建	71.78	S59.3
久 下 〃	久下1430	〃	52.99	S49.3
大 幡 〃	代585-1	〃	〃	S48.3
大麻生 〃	大麻生1097	〃	〃	S42.2
玉 井 〃	新堀319-2			玉井分署内
中 条 〃	上中条814-2	鉄筋コンクリート平屋建	71.78	S59.3
奈 良 〃	下奈良561-15	〃	〃	S57.3
別 府 〃	西別府2047	〃	73.27	S52.3
三 尻 〃	三ヶ尻2750-2	〃	72.33	S54.8
吉 岡 〃	万吉2164	〃	71.78	H4.2
太 井 〃	太井1949-1	〃	179.43	S55.3
星 宮 〃	下川上17-2	〃	52.99	S45.3

熊谷市消防団

平成23年4月1日現在

分 団 名	所 在 地	構 造	延面積(m ²)	建築年月
妻 沼 分 団	妻沼1547-3	鉄骨造平屋建	87.19	H10.2
弥 藤 吾 分 団	弥藤吾1800-1	〃	72.90	H 3.3
男 沼 分 団	男沼118	〃	72.90	H 2.3
小 島 分 団	妻沼小島2357-1	鉄筋コンクリート造平屋建	58.32	S62.3
太 田 分 団	飯塚1395	鉄骨造平屋建	72.90	H 1.3
長 井 分 団	江波363	〃	72.90	H 2.3
秦 分 団	葛和田1135-3	〃	72.90	H 2.11
大 里 中 央 分 団	中曽根643-1	木造垂鉛葺平屋建	23.10	S63.3
大 里 北 分 団	中曽根232-1	鉄骨造平屋建	56.70	H 9.3
大 里 南 分 団	相上1654-7	〃	56.70	H 5.3
江 南 中 央 分 団	江南中央1丁目1	鉄骨造平屋建	61.20	H19.2
江 南 北 分 団	成沢465-1	鉄骨鉄板造スレート葺平屋建	46.45	S60.3
江 南 南 分 団	小江川1931-1	鉄骨造平屋建	54.78	H 2.3

消防ポンプ自動車等性能一覧表

平成23年4月1日現在

分 団 別	車 種	車名・型式	機装会社	年式	使用 年数	総排気 量(CC)	ポンプ 型式	備 考
団本部小隊	多機能車	イズズ BKG-NHS85A	(株)モリタ	H22	1	2,990		無線傍受機付、エアコン付 小型動力ポンプ
団本部女性小隊	広 報 車	ホンダ DBA-RG1	ホンダカーズ	H20	3	1,990		無線傍受機付、エアコン付 カーナビ、軽可搬ポンプ
石 原分団	普通消防ポンプ自動車	イズズ PB-NKR81N	(株)ネイチャー	H18	5	4,770	A-2級	無線傍受機付、エアコン付 CD-1型
荒 川分団	〃	ヒノ KK-XZU331M	日本エレ ファント	H12	11	4,897	〃	無線傍受機付、エアコン付 〃
上 石分団	〃	ニッサン KK-AKR71GN	〃	H13	10	4,570	〃	無線傍受機付、エアコン付 〃
中 央分団	〃	イズズ KC-NKR71GN	野ロポンプ	H10	13	4,570	〃	無線傍受機付、エアコン付 〃
筑 波分団	〃	ヒノ BDG- XZU334M	(株)モリタ	H22	1	4,000	〃	無線傍受機付、エアコン付 〃
肥 塚分団	〃	ヒノ BDG- XZU334M	〃	H21	2	4,000	〃	無線傍受機付、エアコン付 〃
成 田分団	〃	イズズ BKG-NLR85N	小池 株式会社	H20	3	2,990	〃	無線傍受機付、エアコン付 〃
佐谷田分団	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	無線傍受機付、エアコン付 〃
久 下分団	〃	イズズ NKR-71GN	野ロポンプ	H10	13	4,570	〃	無線傍受機付、エアコン付 〃
大 幡分団	〃	トヨタ BDG-XZU334	(株)ナカムラ 消防化学	H23	0	4,570	〃	無線傍受機付、エアコン付 〃
大麻生分団	〃	イズズ KC-NKR71GN	GMいちほら	H 9	14	4,570	〃	無線傍受機付、エアコン付 〃
玉 井分団	〃	三菱 KC-FE538B	野ロポンプ	〃	〃	4,560	〃	無線傍受機付、エアコン付 〃
中 条分団	〃	イズズ KC-NKR71GN	GMいちほら	〃	〃	4,570	〃	無線傍受機付、エアコン付 〃
奈 良分団	〃	三菱 KK-FE73ECY	日本エレ ファント	H15	8	5,240	〃	無線傍受機付、エアコン付 〃
別 府分団	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	無線傍受機付、エアコン付 〃

分 団 別	車 種	車名・型式	艤装会社	年式	使用 年数	総排気 量(CC)	ポンプ 型式	備 考
三 尻分団	普通消防ポンプ自動車	三菱 KK-FE73ECY	日本エレ ファント	H14	9	5,240	A-2級	無線傍受機付、エアコン付 CD-1型
吉 岡分団	〃	イズ PB-NKR81N	小池 株式会社	H17	6	4,770	〃	無線傍受機付、エアコン付 〃
太 井分団	〃	トヨタ BDG-XZU334	(株)ナカムラ 消防化学	H23	0	4,570	〃	無線傍受機付、エアコン付 〃
星 宮分団	〃	トヨタ BDG-XZU334	(株)ナカムラ 消防化学	H23	0	4,570	〃	無線傍受機付、エアコン付 〃
妻 沼分団	〃	ニッサン KK-AKR71GN	日本エレ ファント	H13	10	4,570	〃	無線傍受機付、エアコン付 〃
弥藤吾分団	〃	イズ BKG-NLR85N	小池 株式会社	H20	3	2,990	〃	無線傍受機付、エアコン付 〃
男 沼分団	〃	三菱 KK-FE73ECY	日本エレ ファント	H15	8	5,240	〃	無線傍受機付、エアコン付 〃
小 島分団	〃	イズ BKG-NLR85N	小池 株式会社	H20	3	2,990	〃	無線傍受機付、エアコン付 〃
太 田分団	〃	ニッサン KK-AKR71GN	日本エレ ファント	H13	10	4,570	〃	無線傍受機付、エアコン付 〃
長 井分団	〃	ヒノ KK-XZU331M	〃	H12	11	4,897	〃	無線傍受機付、エアコン付 〃
秦 分団	〃	三菱 KK-FE73ECY	〃	H14	9	5,240	〃	無線傍受機付、エアコン付 〃
大里中央分団	〃	ヒノ BDG- XZU334M	(株)モリタ	H22	1	4,000	〃	無線傍受機付、エアコン付 〃
大里北分団	〃	三菱 KK-FG73ED	日本エレ ファント	H15	8	5,240	〃	無線傍受機付、エアコン付 〃
大里南分団	〃	ヒノ BDG- XZU334M	(株)モリタ	H22	1	4,000	〃	無線傍受機付、エアコン付 〃
江南中央分団	〃	イズ KC-NKR71GN	野ロポンプ	H10	13	4,570	〃	無線傍受機付、エアコン付 〃
江南北分団	〃	ヒノ KK-XZU371M	日本エレ ファント	H12	11	4,897	〃	無線傍受機付、エアコン付 〃
江南南分団	〃	イズ PB-NKR81N	小池株式会 社	H17	6	4,770	〃	無線傍受機付、エアコン付 〃

勤 続 年 数 状 況

熊 谷 市 消 防 団

平成 2 3 年 4 月 1 日 現 在

階級別 勤続年数	団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員	合計
1 年未満						42	42
1 年以上～ 3 年未満					2	66	68
3 " ～ 5 "			1	1	3	70	75
5 " ～ 1 0 "			2	3	11	81	97
1 0 " ～ 1 5 "			1	7	25	58	91
1 5 " ～ 2 0 "		1	12	8	26	25	72
2 0 " ～ 2 5 "		1	4	5	11	11	32
2 5 " ～ 3 0 "		1	6	4	7	3	21
3 0 年以上	1	3	8	6	5	2	25
人員計	1	6	34	34	80	358	513
平均勤続年数	44	29	23	19	16	7	10

年 齢 状 況

熊 谷 市 消 防 団

平成 2 3 年 4 月 1 日 現 在

階級別 年齢別	団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員	合計
2 0 才未満							
2 0 才以上～ 2 5 才以下						6	6
2 6 " ～ 3 0 "						37	37
3 1 " ～ 3 5 "					6	65	71
3 6 " ～ 4 0 "			4	4	20	85	113
4 1 " ～ 4 5 "			3	3	15	81	102
4 6 " ～ 5 0 "		1	3	4	13	41	62
5 1 " ～ 5 5 "		1	10	10	17	17	55
5 6 才以上	1	4	14	13	9	26	67
人員計	1	6	34	34	80	358	513
平均年齢	70	59	53	52	46	42	44

消 防 年 報

発 行 平成23年8月刊行

編 集 熊谷市消防本部
〒360-0811
埼玉県熊谷市原島675番地1

電 話 (048) 501-0119

F A X (048) 521-1207

U R L <http://www.kumagaya119.jp/>